

平成29年10月10日公表

平成29年度 農林水産情報交流ネットワーク事業 全国調査 食育活動及び国産農林水産物・食品に関する意識・意向調査

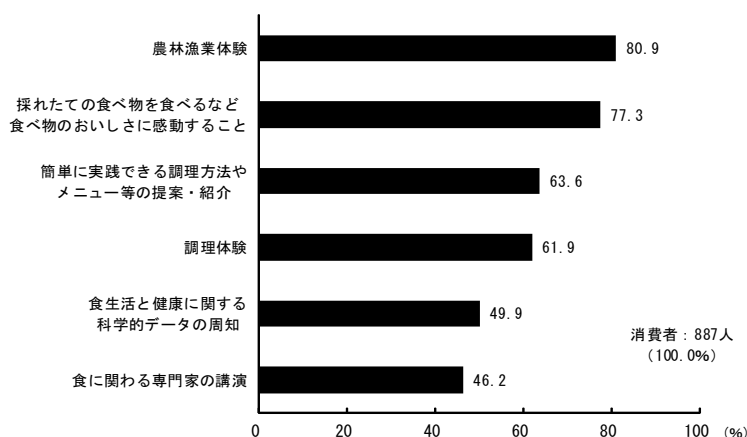
本調査は、食生活への関心度、農林漁業体験等や食育活動、国産農林水産物・食品に関する意識・意向等について、農林水産情報交流ネットワーク事業の消費者モニターを対象に実施したものであり、消費者モニター887人から回答を得た結果である。

【調査結果の概要】

1 効果の高い食育活動

食に対する考え方や実際の食生活を改善するために効果が高いと考えられる食育活動は「農林漁業体験」と回答した割合が80.9%、次いで「採れたての食べ物を食べるなど食べ物のおいしさに感動すること」が77.3%であった。

図1 効果の高い食育活動（複数回答）

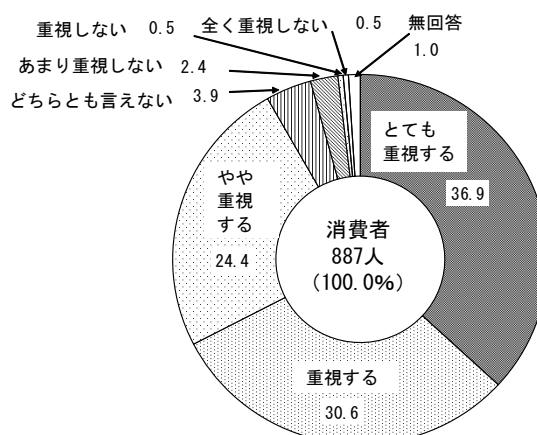


注：「その他」、「わからない」及び「無回答」は省略しています。

2 農林水産物・食品・飲料について 「国産」かどうかの重視度合

農林水産物・食品・飲料について「国産」であることを、「とても重視する」と回答した割合が36.9%、次いで「重視する」が30.6%、「やや重視する」が24.4%であった。

図2 農林水産物・食品・飲料について
「国産」かどうかの重視度合



注：割合は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ。）。

本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

【<http://www.maff.go.jp/j/finding/mind/index.html>】

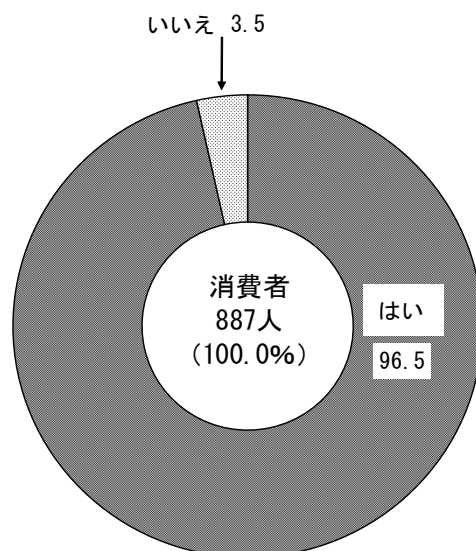
【調査結果】

1 食生活への関心度について

(1) 食生活に気を遣っているかについて

食生活に気を遣っているかについて、「はい」と回答した割合は96.5%で、「いいえ」は3.5%であった。

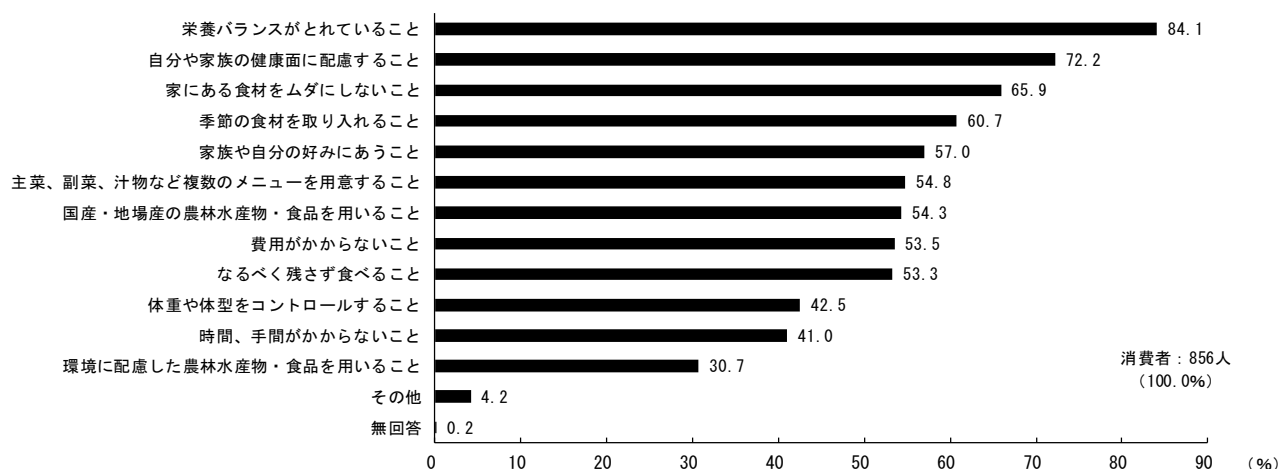
図3-1 食生活に気を遣っているか



(2) 食生活に気を遣っていること

食生活に気を遣っていると回答した者において、日々の食生活で気を遣っていることは、「栄養バランスがとれていること」と回答した割合が84.1%と最も高く、次いで「自分や家族の健康面に配慮すること」(72.2%)、「家にある食材をムダにしないこと」(65.9%)、「季節の食材を取り入れること」(60.7%)の順であった。

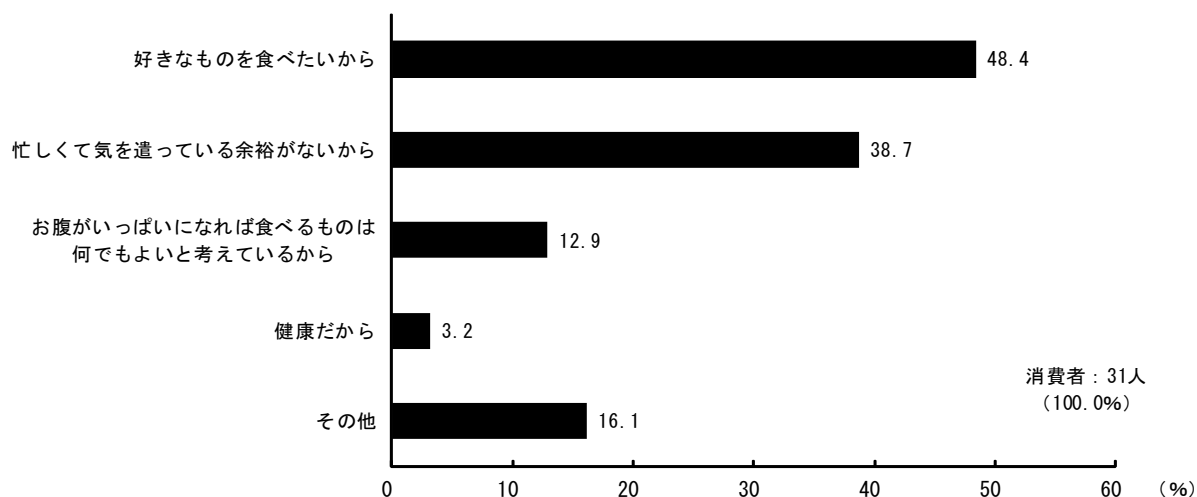
図3-2 食生活に気を遣っていること（複数回答）



(3) 食生活に気を遣わない理由

食生活に気を遣わないと回答した者において、気を遣わない理由は、「好きなものを食べたいから」と回答した割合が48.4%と最も高く、次いで「忙しくて気を遣っている余裕がないから」(38.7%)、「お腹がいっぱいになれば食べるものは何でもよいと考えているから」(12.9%)の順であった。

図 3 - 3 食生活に気を遣わない理由（複数回答）

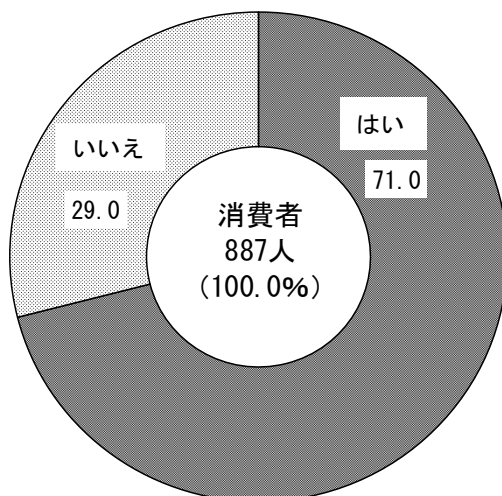


2 農林漁業体験について

(1) 農林漁業体験の有無

田植えや家畜の世話等の農林漁業体験の経験の有無については、「はい」（経験がある）と回答した割合は71.0%、「いいえ」（経験がない）は29.0%であった。

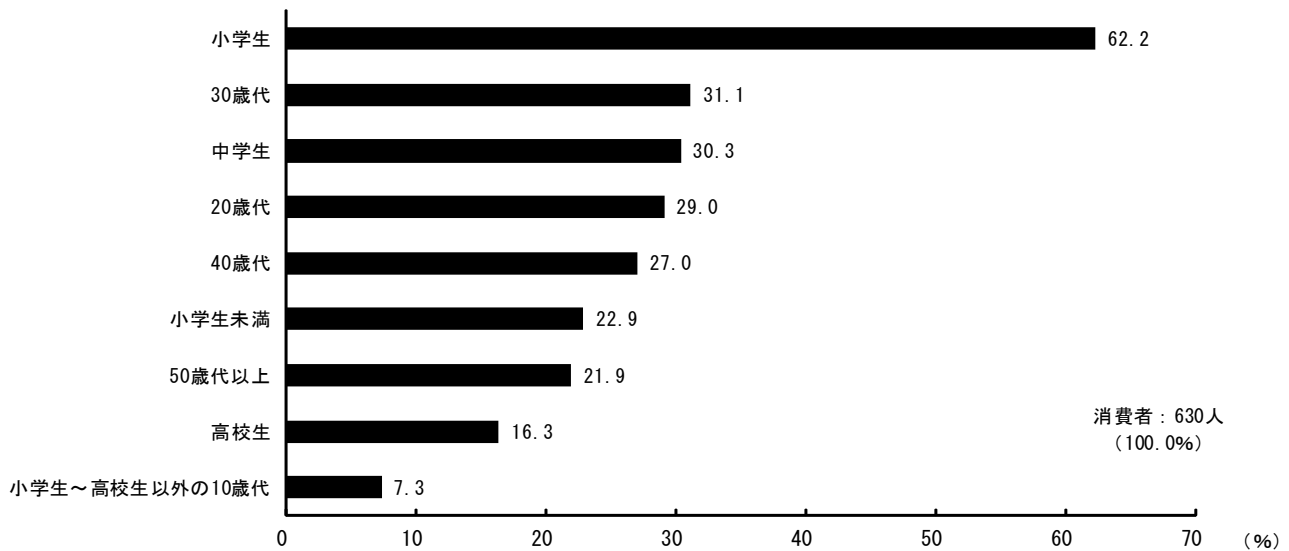
図 4 - 1 農林漁業体験の有無



(2) 農林漁業体験の時期

農林漁業体験の経験があると回答した者において、経験した時期については、「小学生」と回答した割合が62.2%と最も高く、次いで「30歳代」(31.1%)、「中学生」(30.3%)、「20歳代」(29.0%)の順であった。

図 4 - 2 農林漁業体験の時期（複数回答）

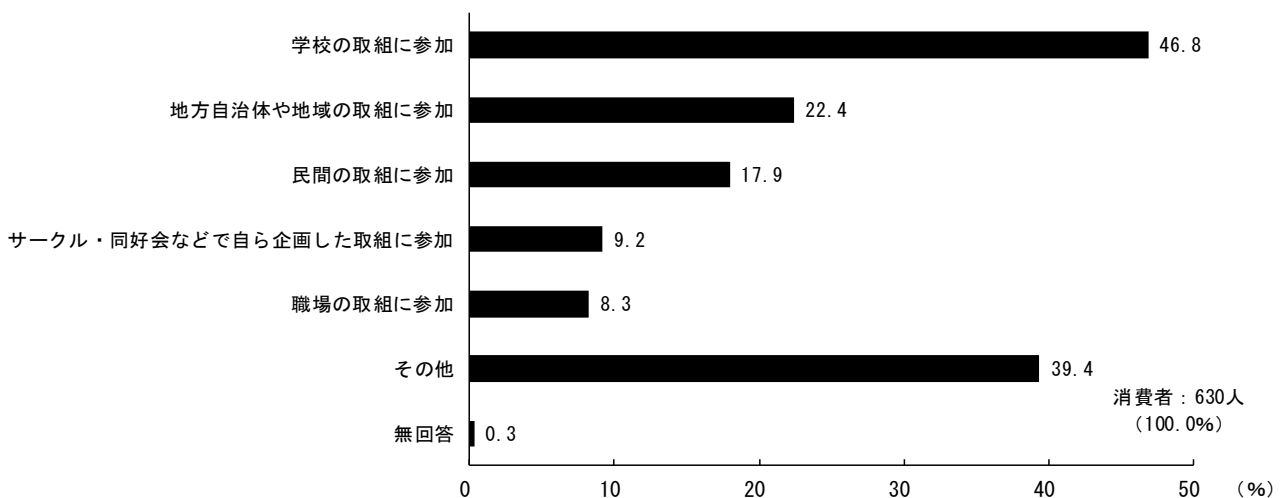


(3) 参加した農林漁業体験の取組主体

農林漁業体験の経験があると回答した者において、参加した農林漁業体験の取組主体は、「学校の取組に参加」と回答した割合が46.8%と最も高く、次いで「地方自治体や地域の取組に参加」(22.4%)、「民間の取組に参加」(17.9%)の順であった。

また、「その他」と回答した割合は39.4%であり、主な回答は、実家や親戚等の農作業の手伝い、大学等の授業での実習などであった。

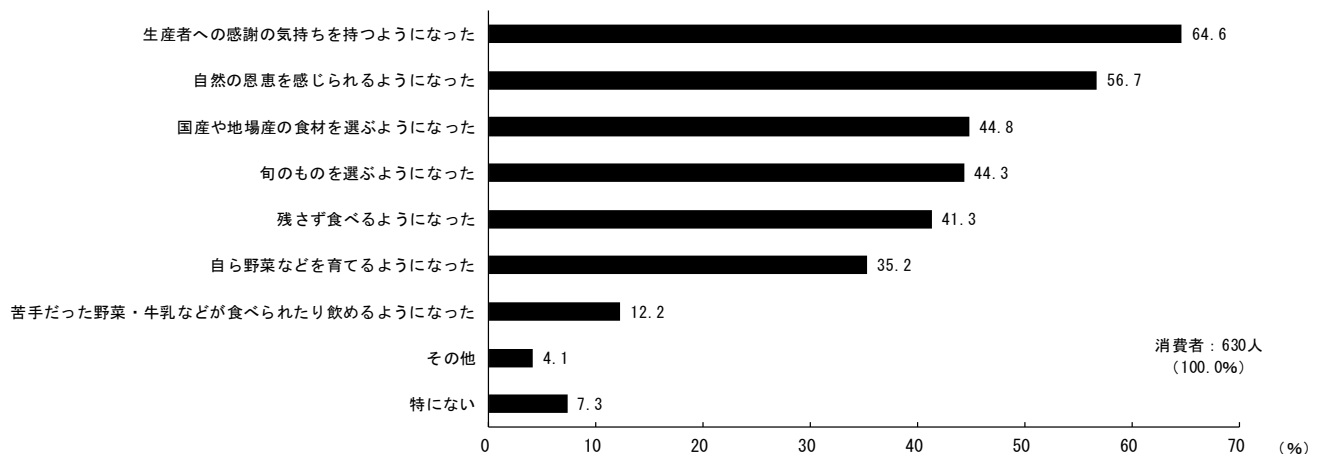
図 4 - 3 参加した農林漁業体験の取組主体（複数回答）



(4) 現在の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼしていること

農林漁業体験の経験があると回答した者において、参加した農林漁業体験が現在の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼしていることは、「生産者への感謝の気持ちを持つようになった」と回答した割合が64.6%と最も高く、次いで「自然の恩恵を感じられるようになった」(56.7%)、「国産や地場産の食材を選ぶようになった」(44.8%)、「旬のものを選ぶようになった」(44.3%)、「残さず食べるようになった」(41.3%)、「自ら野菜などを育てるようになった」(35.2%)、「苦手だった野菜・牛乳などが食べられたり飲めるようになった」(12.2%)、「その他」(4.1%)、「特にない」(7.3%)の順であった。

図4-4 現在の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼしていること（複数回答）

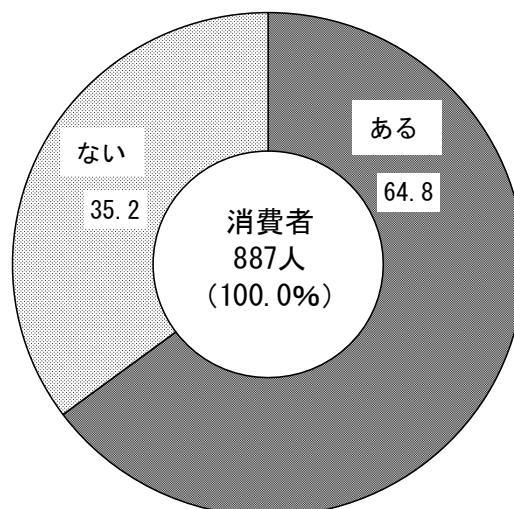


3 調理体験について

(1) 調理体験の有無

料理教室や料理講習会等の調理体験の参加の有無については、「ある」(参加したことがある)と回答した割合は64.8%、「ない」(参加したことがない)は35.2%であった。

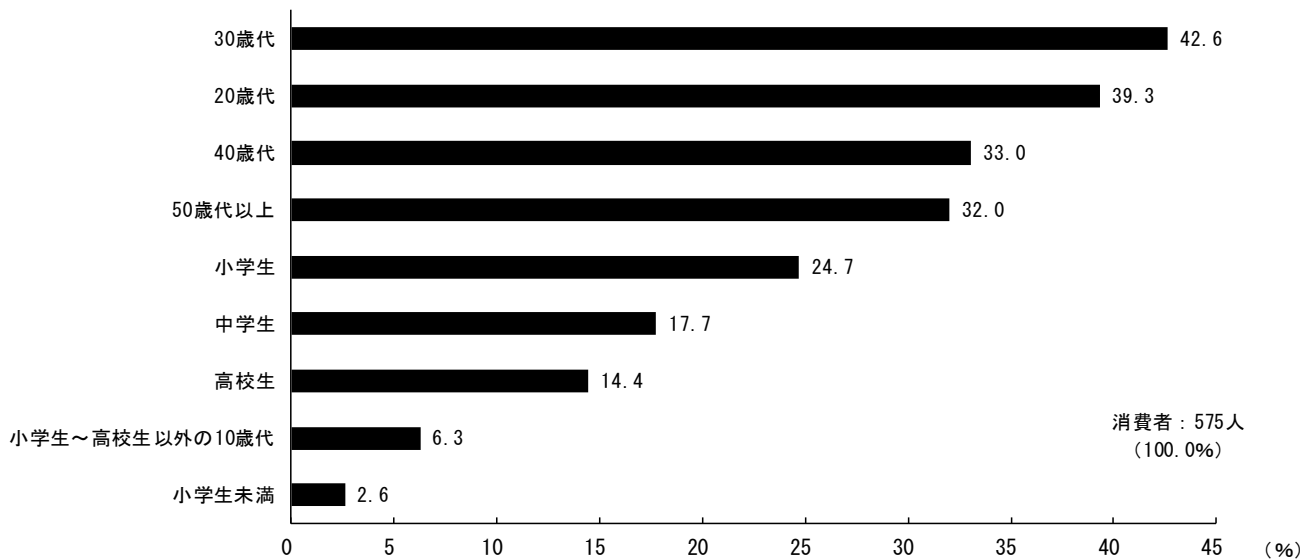
図5-1 調理体験の有無



(2) 調理体験の時期

調理体験に参加したことがあると回答した者において、参加した時期については、「30歳代」と回答した割合が42.6%と最も高く、次いで「20歳代」(39.3%)、「40歳代」(33.0%)、「50歳代以上」(32.0%)の順であった。

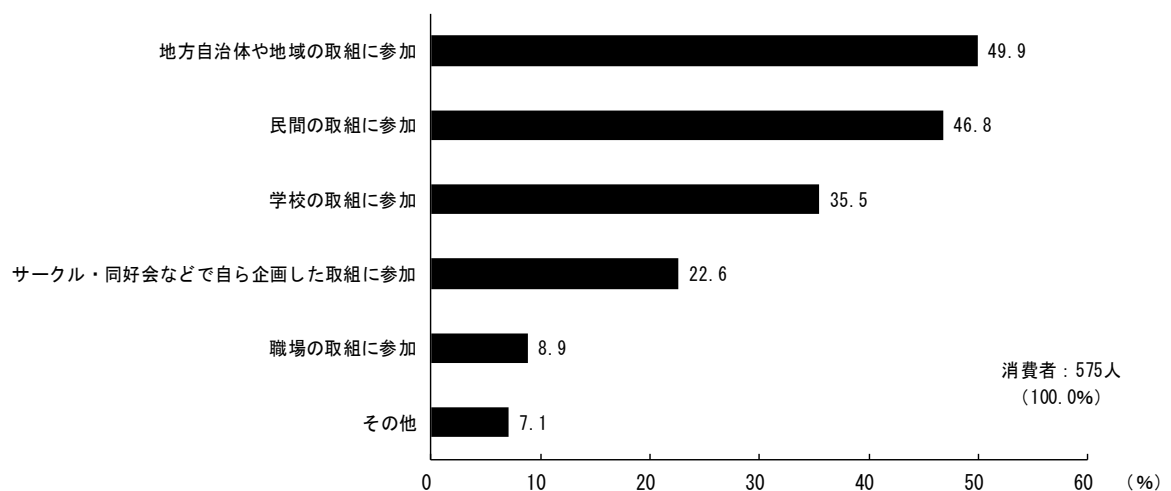
図5-2 調理体験の時期（複数回答）



(3) 参加した調理体験の取組主体

調理体験に参加したことがあると回答した者において、参加した調理体験の取組主体は、「地方自治体や地域の取組に参加」と回答した割合が49.9%と最も高く、次いで「民間の取組に参加」(46.8%)、「学校の取組に参加」(35.5%)の順であった。

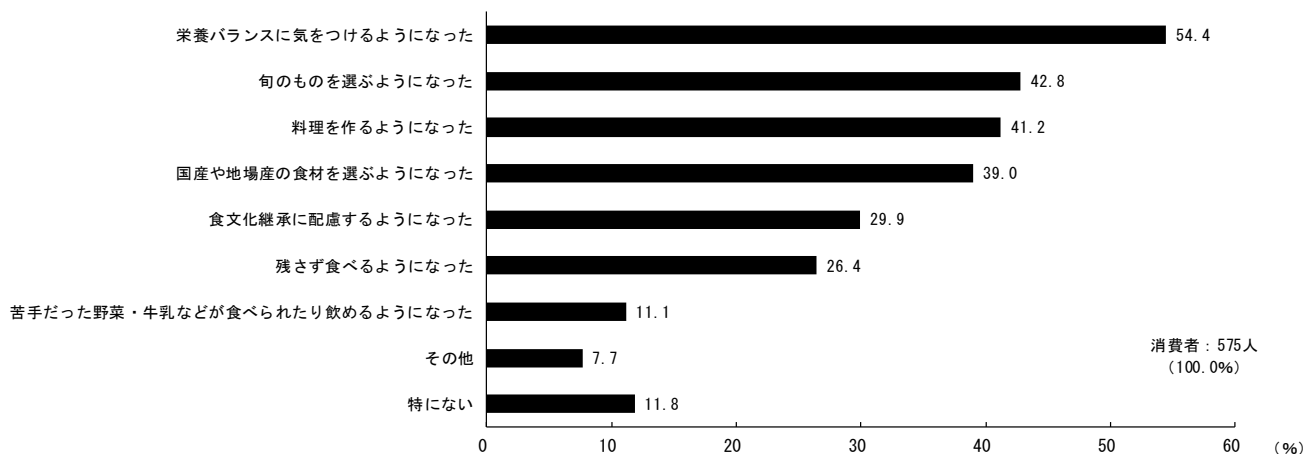
図5-3 参加した調理体験の取組主体（複数回答）



(4) 現在の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼしていること

調理体験に参加したことがあると回答した者において、参加した調理体験が現在の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼしていることは、「栄養バランスに気をつけるようになった」と回答した割合が54.4%と最も高く、次いで「旬のものを選ぶようになった」(42.8%)、「料理を作るようになった」(41.2%)、「国産や地場産の食材を選ぶようになった」(39.0%)の順であった。

図5-4 現在の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼしていること（複数回答）

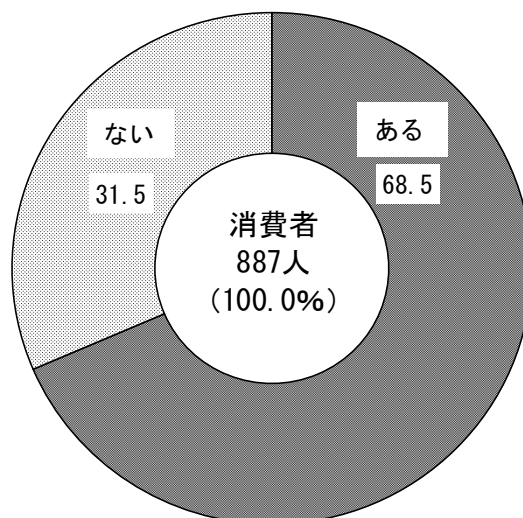


4 食に関する講演会等について

(1) 講演会等で食育に関する話を聞いたことの有無

講演会やシンポジウム、テレビ番組など（以下、「講演会等」という。）で食生活や栄養バランス、農林漁業体験等食育に関する話を聞いたことの有無については、「ある」（聞いたことがある）と回答した割合は68.5%、「ない」（聞いたことがない）は31.5%であった。

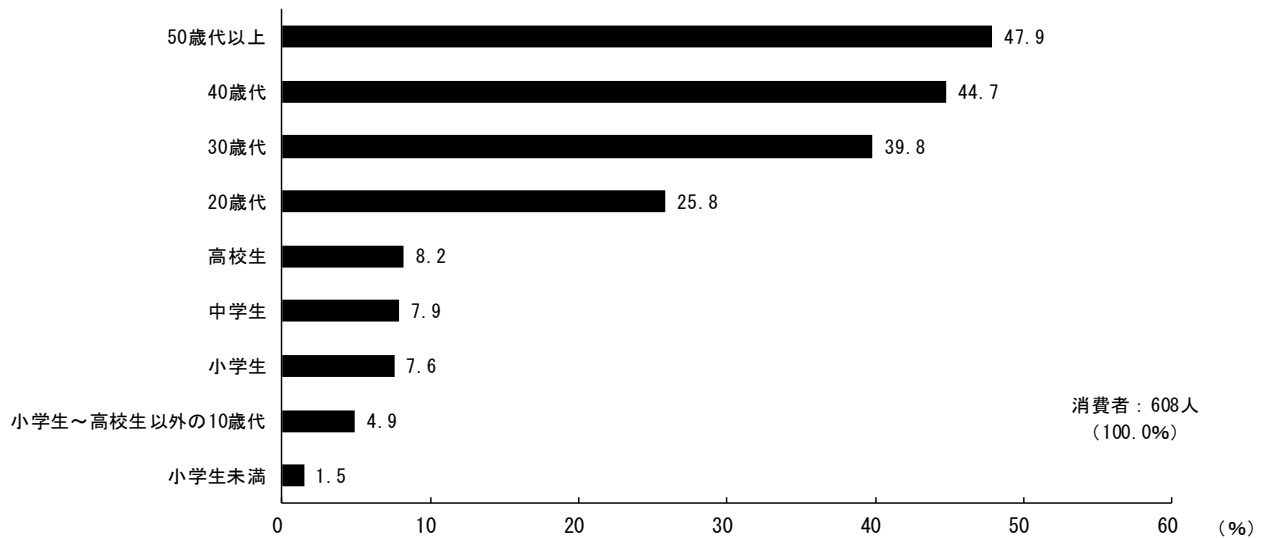
図6-1 講演会等で食育に関する話を聞いたことの有無



(2) 講演会等で食育に関する話を聞いた時期

講演会等で食育に関する話を聞いたことがあると回答した者において、話を聞いた時期については、「50歳代以上」と回答した割合が47.9%と最も高く、次いで「40歳代」（44.7%）、「30歳代」（39.8%）、「20歳代」（25.8%）の順であった。

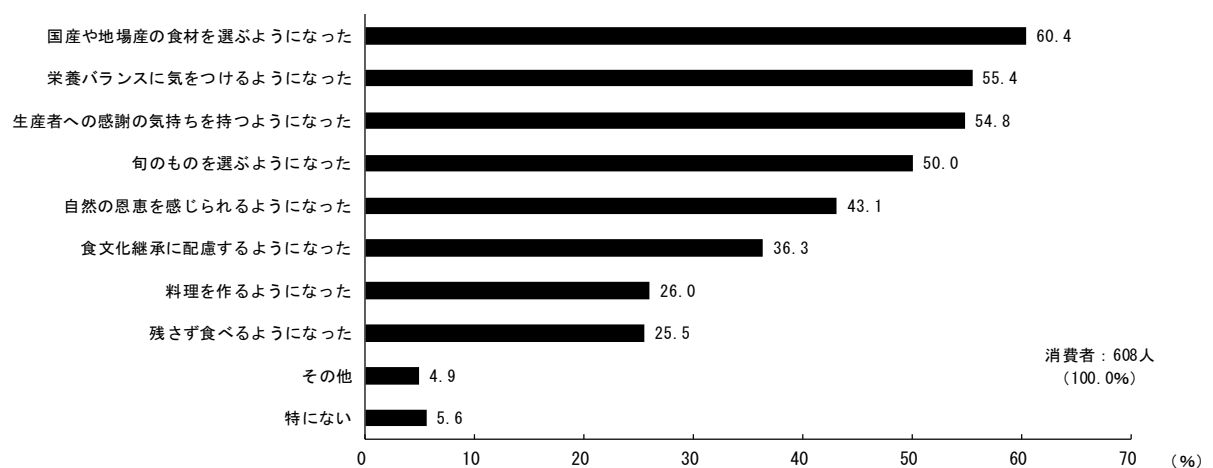
図 6－2 講演会等で食育に関する話を聞いた時期（複数回答）



(3) 現在の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼしていること

講演会等で食育に関する話を聞いたことがあると回答した者において、講演会等で食育に関する話を聞いたことで、現在の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼしていることは、「国産や地場産の食材を選ぶようになった」と回答した割合が60.4%と最も高く、次いで「栄養バランスに気をつけるようになった」（55.4%）、「生産者への感謝の気持ちを持つようになった」（54.8%）、「旬のものを選ぶようになった」（50.0%）の順であった。

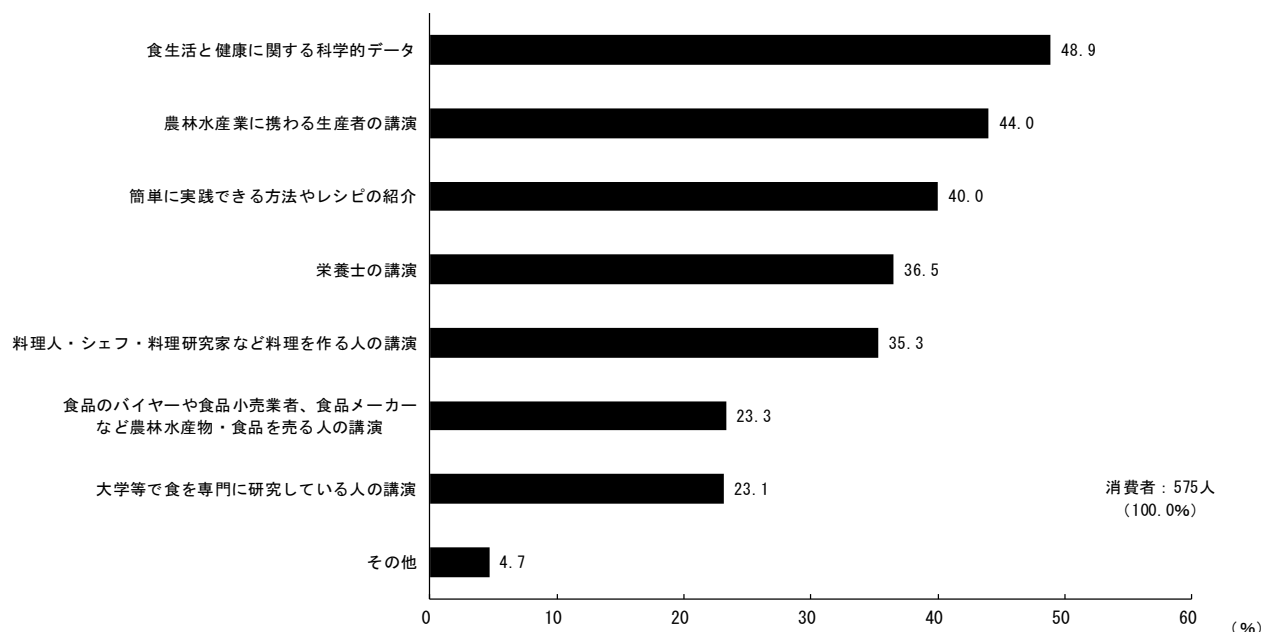
図 6－3 現在の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼしていること（複数回答）



(4) 現在の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼした講演会等の内容

現在の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼしていることが「特にない」以外を回答した者において、現在の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼした講演会等の内容は、「食生活と健康に関する科学的データ」と回答した割合が48.9%と最も高く、次いで「農林水産業に携わる生産者の講演」（44.0%）、「簡単に実践できる方法やレシピの紹介」（40.0%）、「栄養士の講演」（36.5%）の順であった。

図6-4 現在の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼした講演会等の内容（複数回答）

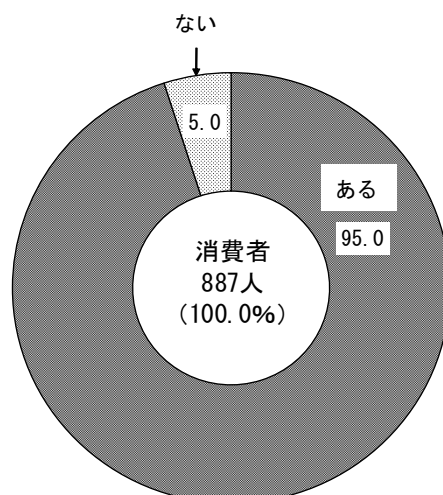


5 食べ物のおいしさについて

(1) 食べ物のおいしさに対する感動の有無

旬の食べ物や採れたての食べ物を食べて、そのおいしさに対する感動の有無については、「ある」（感動したことがある）と回答した割合は95.0%、「ない」（感動したことがない）は5.0%であった。

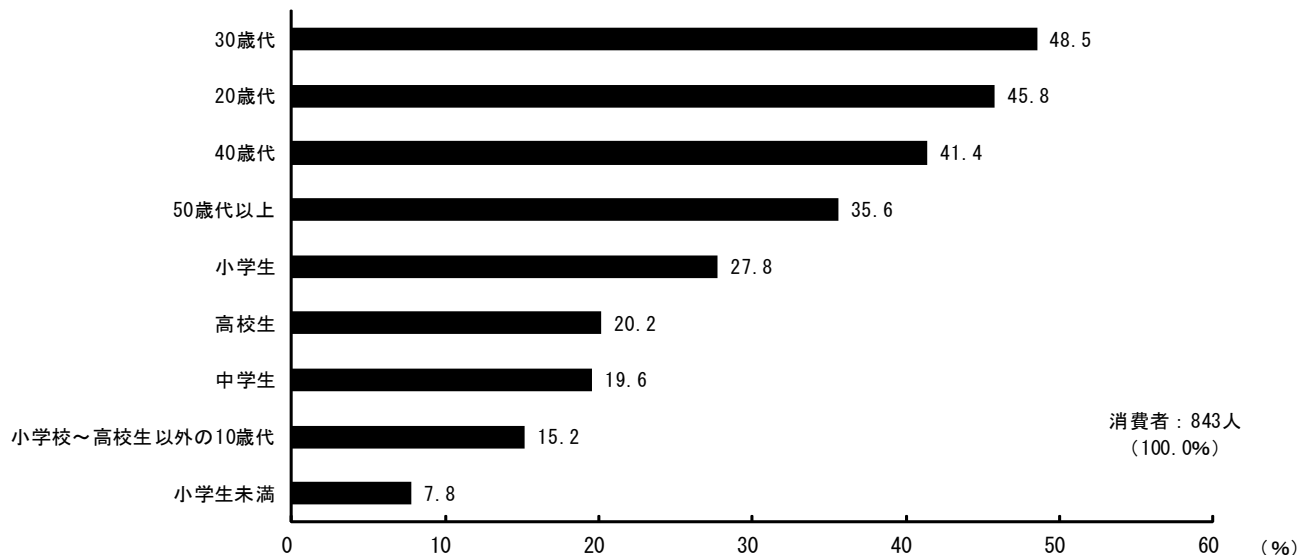
図7-1 食べ物のおいしさに対する感動の有無



(2) 食べ物のおいしさに感動した時期

旬の食べ物や採れたての食べ物のおいしさに感動したことがあると回答した者において、感動した時期については、「30歳代」と回答した割合が48.5%と最も高く、次いで「20歳代」(45.8%)、「40歳代」(41.4%)、「50歳代以上」(35.6%)の順であった。

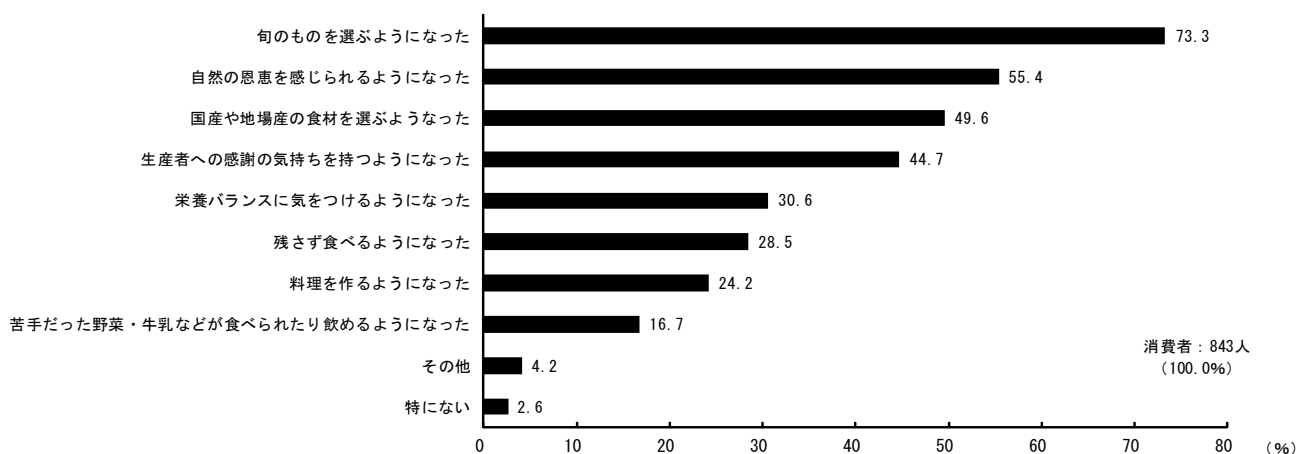
図 7-2 食べ物のおいしさに感動した時期（複数回答）



(3) 現在の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼしていること

旬の食べ物やとれたての食べ物のおいしさに感動したことがあると回答した者において、おいしさに感動した経験が現在の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼしていることは、「旬のものを選ぶようになった」と回答した割合が73.3%と最も高く、次いで「自然の恩恵を感じられるようになった」(55.4%)、「国産や地場産の食材を選ぶようになった」(49.6%)、「生産者への感謝の気持ちを持つようになった」(44.7%)の順であった。

図 7-3 食べ物のおいしさに感動した経験が現在の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼしていること（複数回答）

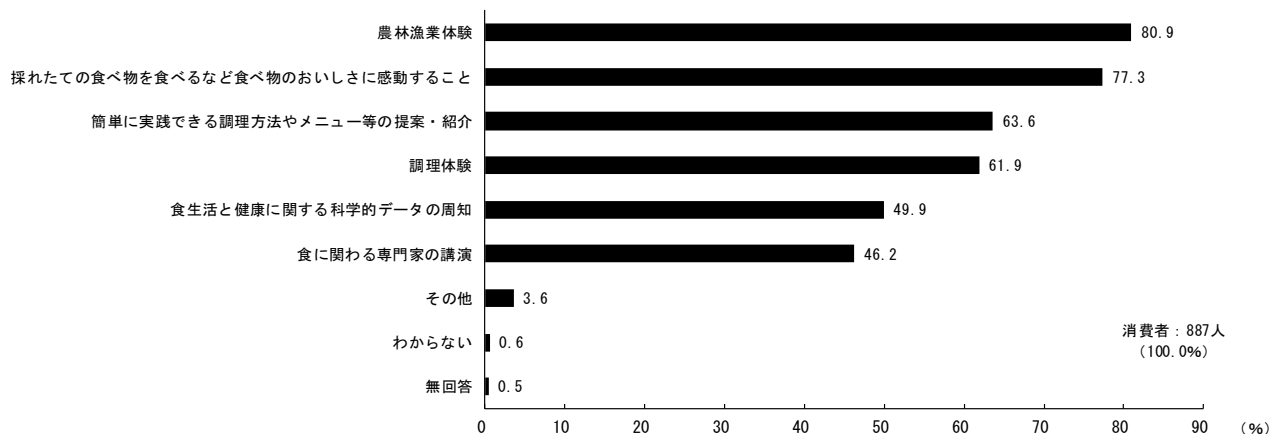


6 効果の高い食育活動について

(1) 効果の高い食育活動

食に対する考え方や実際の食生活を改善するために効果が高い食育活動については、「農林漁業体験」と回答した割合は80.9%と最も高く、次いで「採れたての食べ物を食べるなど食べ物のおいしさに感動すること」（77.3%）、「簡単に実践できる調理方法やメニュー等の提案・紹介」（63.6%）、「調理体験」（61.9%）の順であった。

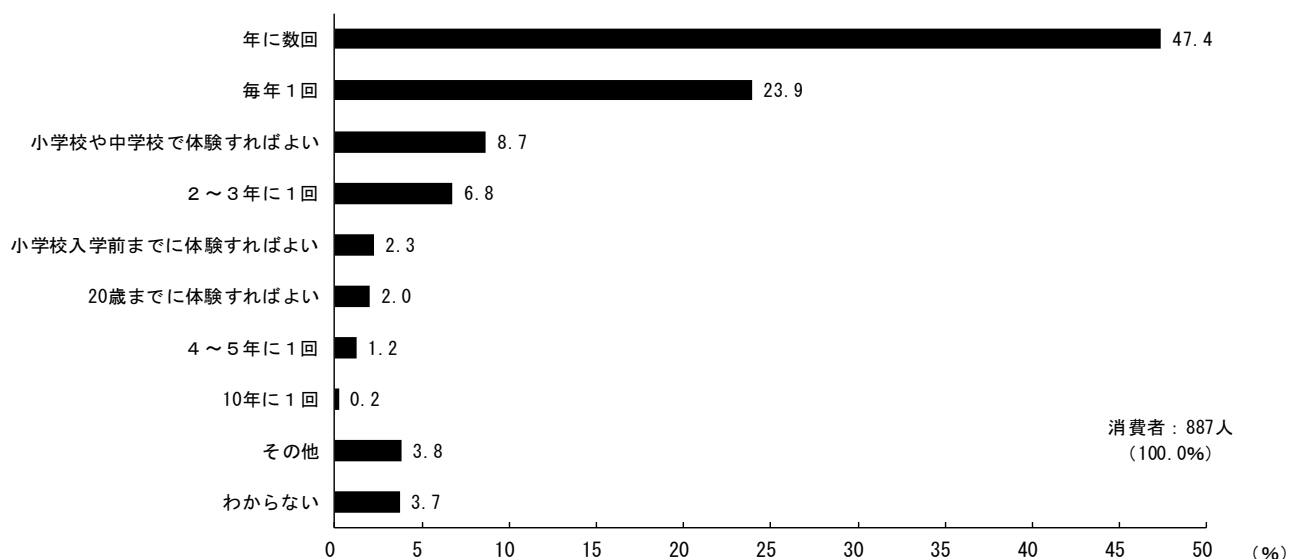
図 8 - 1 効果の高い食育活動（複数回答）



(2) 食に関する関心を持ち続けるのに必要な食育活動に触れる機会の頻度

食に関する関心を持ち続けるために必要な食育活動に触れる機会の頻度については、「年に数回」と回答した割合が47.4%と最も高く、次いで「毎年1回」（23.9%）、「小学校や中学校で体験すればよい」（8.7%）、「2～3年に1回」（6.8%）の順であった。

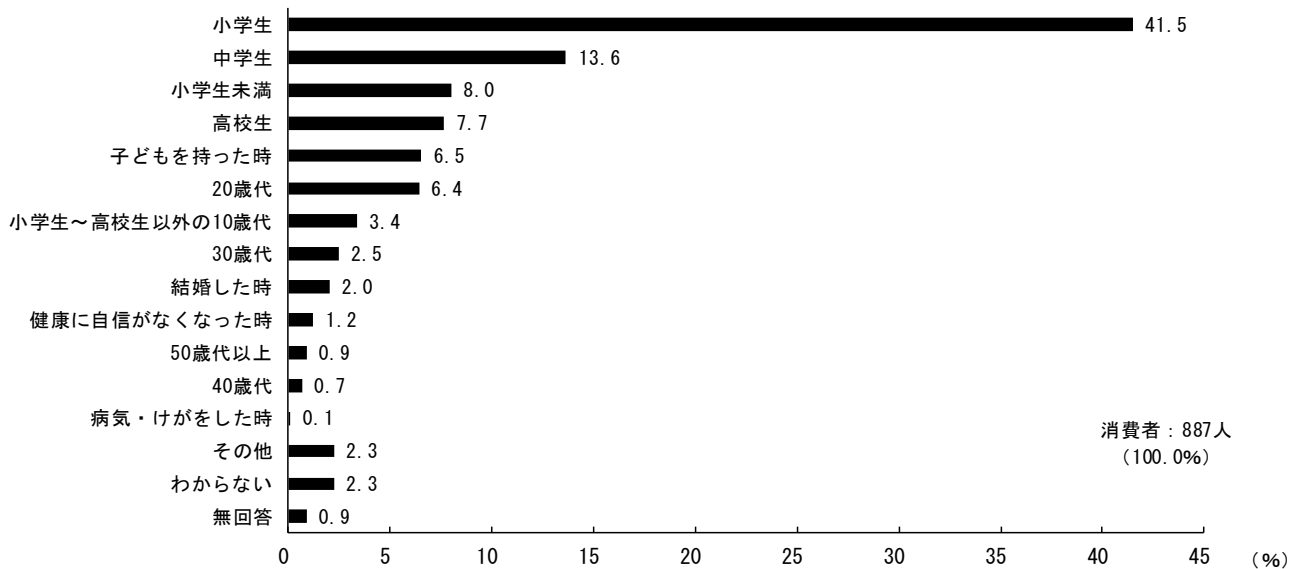
図 8 - 2 食に関する関心を持ち続けるのに必要な食育活動に触れる機会の頻度



(3) 食育活動体験の効果が最も高いと思われる時期

食育活動を体験する時期として、最も効果が高い時期については、「小学生」と回答した割合が41.5%と最も高く、次いで「中学生」(13.6%)、「小学生未満」(8.0%)、「高校生」(7.7%)の順であった。

図 8－3 食育活動体験の効果が最も高いと思われる時期

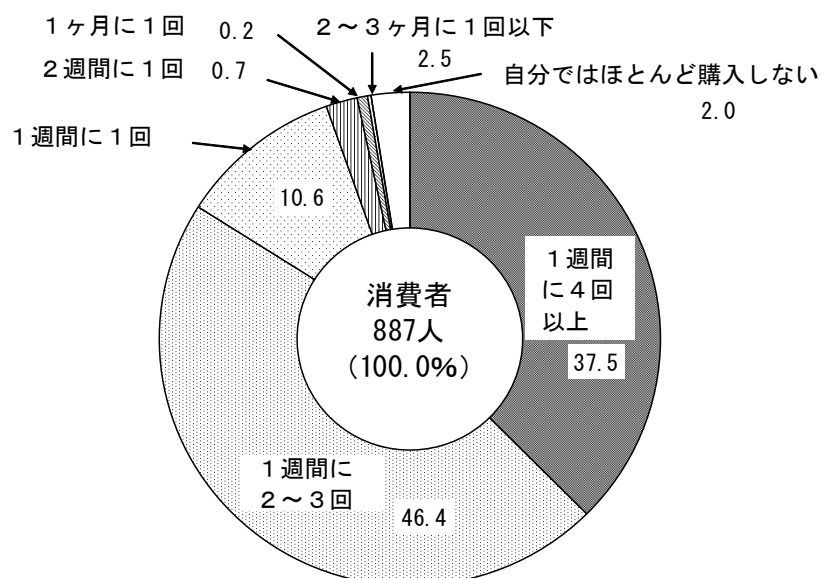


7 国産農林水産物・食品について

(1) 農林水産物・食品・飲料等の購入頻度

普段、農林水産物・食品・飲料等を購入する頻度については、「1週間に2～3回」と回答した割合が46.4%と最も高く、次いで「1週間に4回以上」(37.5%)、「1週間に1回」(10.6%)、「自分ではほとんど購入しない」(2.5%)の順であった。

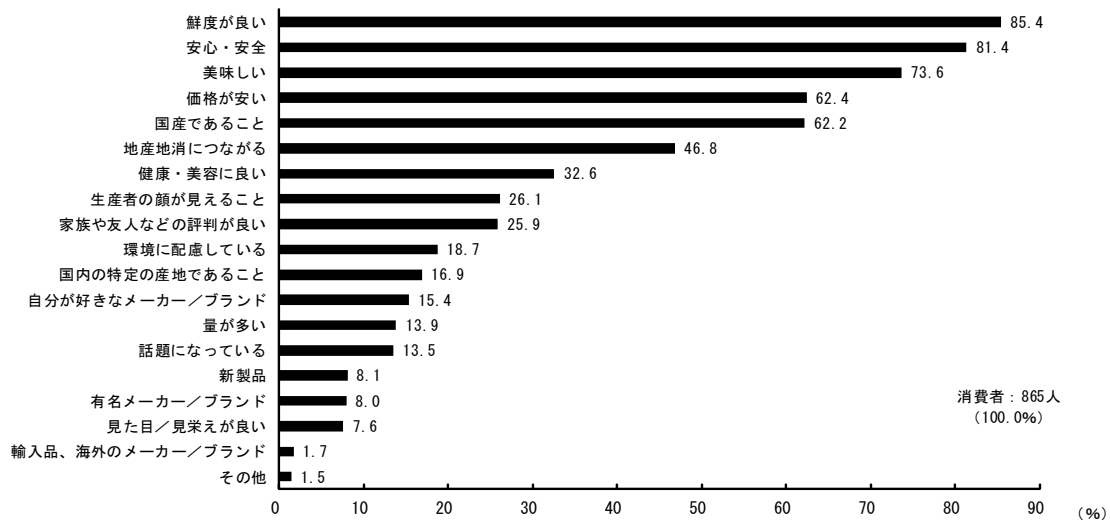
図 9－1 農林水産物・食品・飲料等の購入頻度



(2) 農林水産物・食品・飲料等を購入する際に重視すること

普段、農林水産物・食品・飲料等の購入頻度が「自分ではほとんど購入しない」以外を回答した者（以下、「普段、農林水産物・食品・飲料等を購入すると回答した者」という。）において、農林水産物・食品・飲料等を購入する際に重視することは、「鮮度が良い」と回答した割合が85.4%と最も高く、次いで「安心・安全（衛生面・添加物等）」（81.4%）、「美味しい」（73.6%）、「価格が安い」（62.4%）、「国産であること」（62.2%）の順であった。

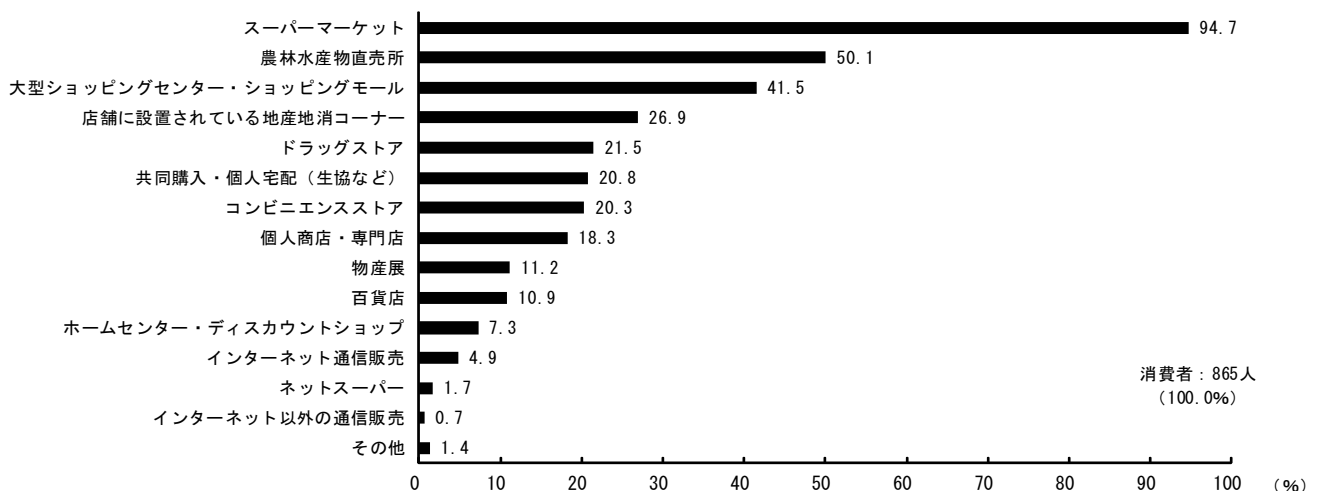
図9-2 農林水産物・食品・飲料等を購入する際に重視すること



(3) 農林水産物・食品・飲料等の購入場所

普段、農林水産物・食品・飲料等を購入すると回答した者において、農林水産物・食品・飲料等を購入する場所は、「スーパーマーケット」と回答した割合が94.7%と最も高く、次いで「農林水産物直売所（道の駅・産直市場など）」（50.1%）、「大型ショッピングセンター・ショッピングモール」（41.5%）、「店舗に設置されている地産地消コーナー」（26.9%）、「ドラッグストア」（21.5%）の順であった。

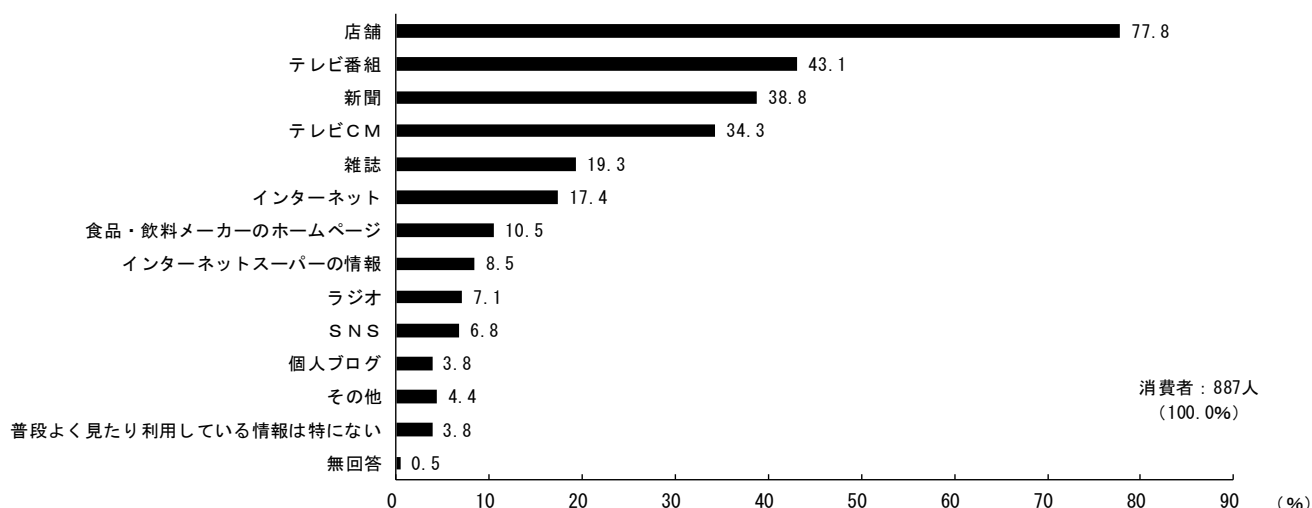
図9-3 農林水産物・食品・飲料等の購入場所（複数回答）



(4) 農林水産物・食品・飲料について利用等している情報源（複数回答）

普段、農林水産物・食品・飲料についてよく見たり、利用している情報源は、「店舗」と回答した割合が77.8%と最も高く、次いで「テレビ番組」（43.1%）、「新聞」（38.8%）、「テレビCM」（34.3%）の順であった。

図9－4 農林水産物・食品・飲料について利用等している情報源（複数回答）

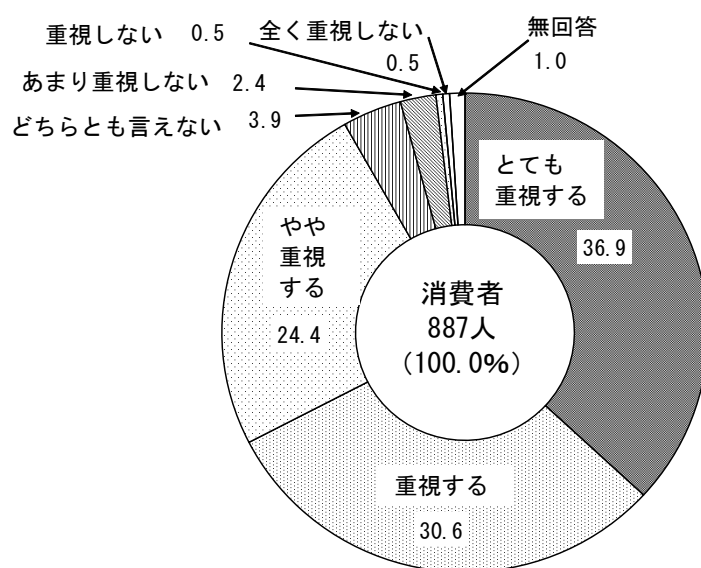


注：「インターネット」は、食品・飲料メーカーのホームページやインターネットスーパーの情報は除く。

(5) 農林水産物・食品・飲料について「国産」かどうかの重視度合

農林水産物・食品・飲料について「国産」かどうかの重視度合は、「とても重視する」と回答した割合が36.9%と最も高く、次いで「重視する」（30.6%）、「やや重視する」（24.4%）、「どちらとも言えない」（3.9%）の順であった。

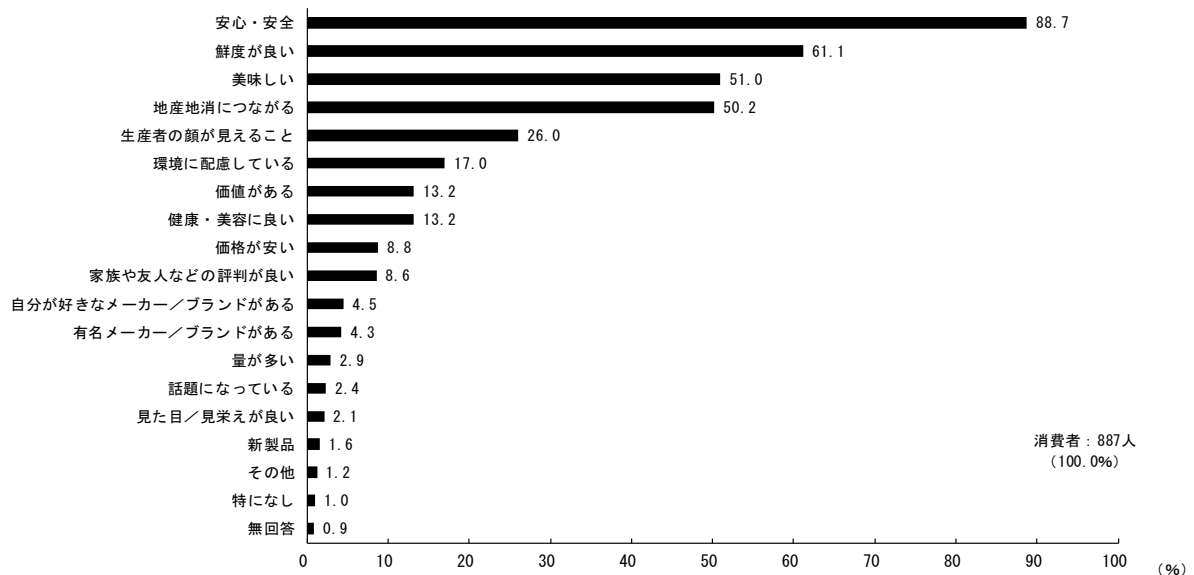
図9－5 農林水産物・食品・飲料について「国産」かどうかの重視度合



(6) 国産の農林水産物・食品・飲料を買おうと思う理由（複数回答）

国産の農林水産物・食品・飲料を買おうと思う理由は、「安心・安全（衛生面、添加物等）」と回答した割合が88.7%と最も高く、次いで「鮮度が良い」（61.1%）、「美味しい」（51.0%）、「地産地消につながる」（50.2%）の順であった。

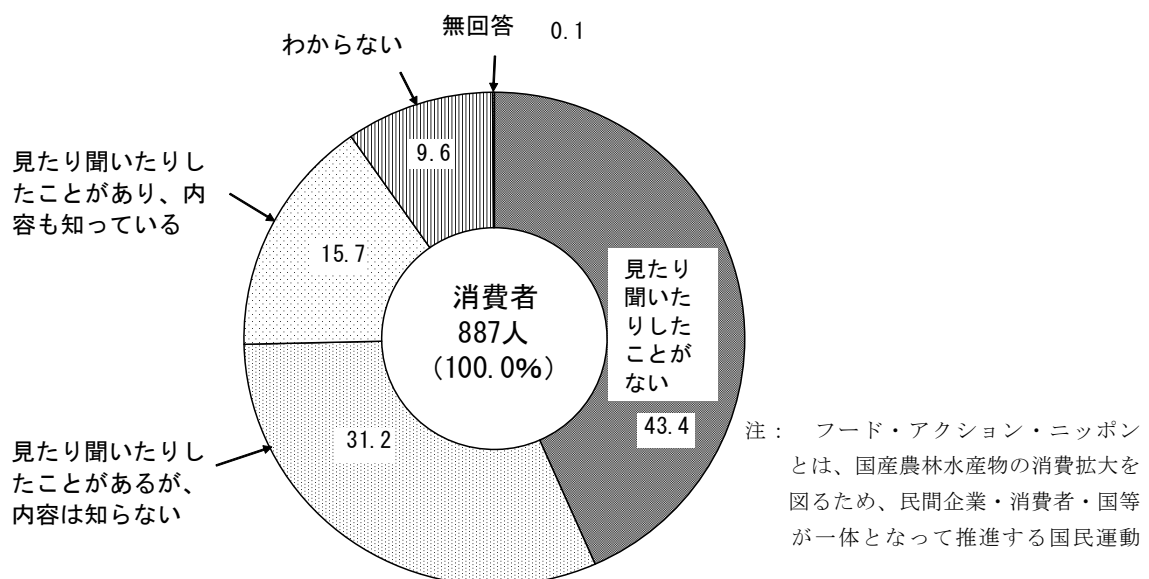
図 9－6 国産の農林水産物・食品・飲料を買おうと思う理由（複数回答）



(7) フード・アクション・ニッポン (Food Action Nippon) の認知度

フード・アクション・ニッポン (Food Action Nippon) の認知度は、「見たり聞いたりしたことはない」と回答した割合が43.4%と最も高く、次いで「見たり聞いたりしたことがあるが、内容は知らない」（31.2%）、「見たり聞いたりしたことがあり、内容も知っている」（15.7%）の順であった。

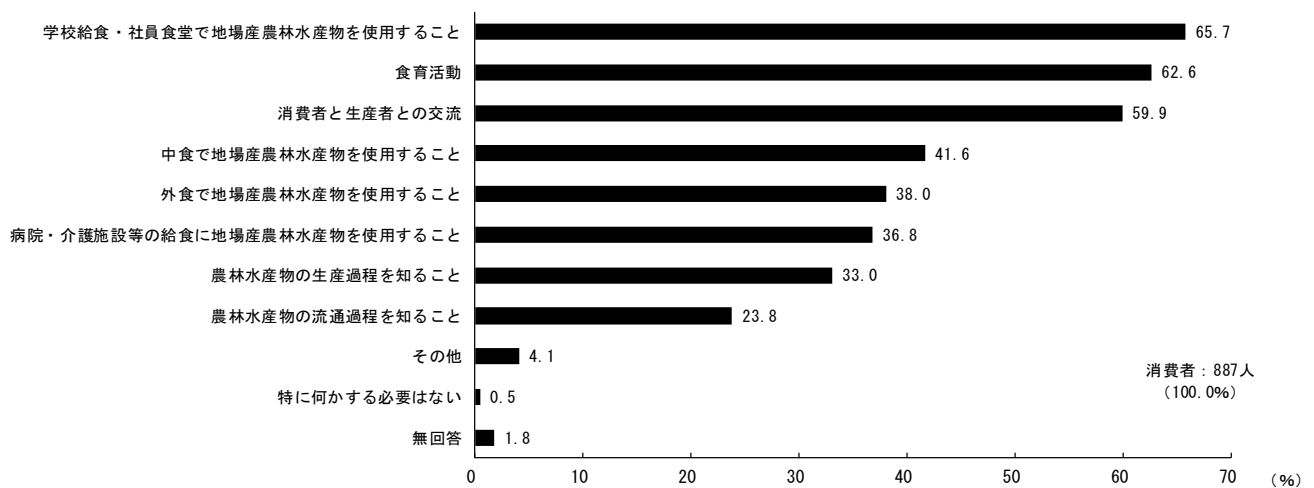
図 9－7 フード・アクション・ニッポン (Food Action Nippon) の認知度



(8) 地産地消を進めるのに重要なこと

地産地消を進めるのに重要なことは、「学校給食・社員食堂で地場産農林水産物を使用すること」と回答した割合が65.7%と最も高く、次いで「食育活動」(62.6%)、「消費者と生産者との交流」(59.9%)、「中食(持ち帰りが可能な惣菜、弁当など)で地場産農林水産物を使用すること」(41.6%)の順であった。

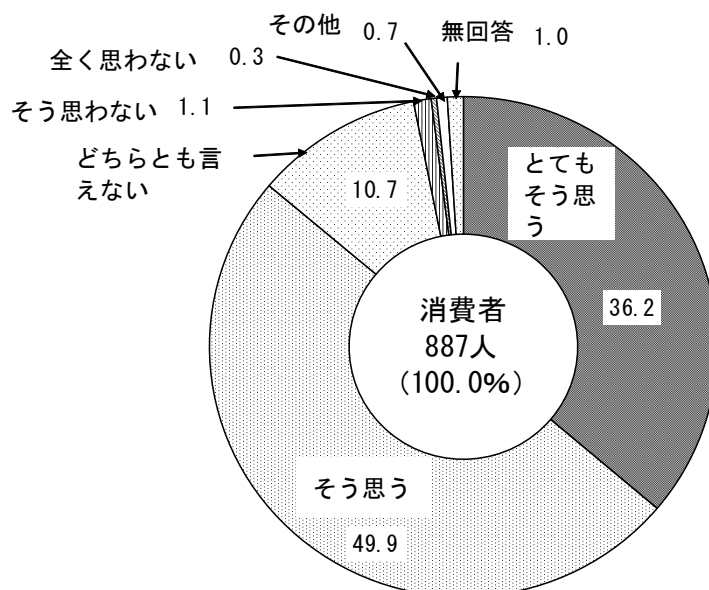
図9-8 地産地消を進めるのに重要なこと(複数回答)



(9) 国産農林水産物が多く使用されている加工食品、中食、外食の飲食・利用意向

国産農林水産物が多く使用されている加工食品、中食、外食の飲食・利用意向については、「そう思う」と回答した割合が49.9%と最も高く、次いで「とてもそう思う」(36.2%)、「どちらとも言えない」(10.7%)の順であった。

図9-9 国産農林水産物が多く使用されている加工食品、中食(惣菜等)、飲食・外食の利用意向



【 統 計 表 】

統計表一覧

ページ

1	食生活への関心度について	
(1)	食生活に気を遣っているかについて	18
(2)	食生活に気を遣っていること（複数回答）	18
(3)	食生活に気を遣わない理由（複数回答）	19
2	農林漁業体験について	
(1)	農林漁業体験の有無	19
(2)	農林漁業体験の時期（複数回答）	19
(3)	参加した農林漁業体験の取組主体（複数回答）	20
(4)	現在の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼしていること（複数回答）	20
3	調理体験について	
(1)	調理体験の有無	20
(2)	調理体験の時期（複数回答）	21
(3)	参加した調理体験の取組主体（複数回答）	21
(4)	現在の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼしていること（複数回答）	21
4	食に関する講演会等について	
(1)	講演会等で食育に関する話を聞いたことの有無	22
(2)	講演会等で話を聞いた時期（複数回答）	22
(3)	現在の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼしていること（複数回答）	22
(4)	現在の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼした講演会等の内容（複数回答）	23
5	食べ物のおいしさについて	
(1)	食べ物のおいしさに対する感動の有無	23
(2)	食べ物のおいしさに感動した時期（複数回答）	23
(3)	現在の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼしていること（複数回答）	24
6	効果の高い食育活動について	
(1)	効果の高い食育活動（複数回答）	24
(2)	食に関する関心を持ち続けるのに必要な食育活動に触れる機会の頻度	24
(3)	食育活動体験の効果が最も高いと思われる時期	25
7	国産農林水産物・食品について	
(1)	農林水産物・食品・飲料等（国産・外国産）の購入頻度	25
(2)	農林水産物・食品・飲料等（国産・外国産）を購入する際に重視すること（複数回答）	26
(3)	農林水産物・食品・飲料等（国産・外国産）の購入場所（複数回答）	26
(4)	農林水産物・食品・飲料について利用等している情報源（複数回答）	27
(5)	農林水産物・食品・飲料について「国産」かどうかの重視度合	28
(6)	国産の農林水産物・食品・飲料を買おうと思う理由（複数回答）	28
(7)	フード・アクション・ニッポン（Food Action Nippon）の認知度	29
(8)	地産地消を進めるのに重要なこと（複数回答）	29
(9)	国産農林水産物が多く使用されている加工食品、中食（総菜等）、外食の飲食・利用意向	29
8	基本項目	
(1)	同居家族	30
(2)	職業	30
(3)	世帯年収	30

1 食生活への関心度について

(1) 食生活に気を遣っているかについて

区 分	回答者数	はい	いいえ	無回答
	人	%	%	%
計	887	96.5	3.5	-
性別				
男性	256	95.7	4.3	-
女性	631	96.8	3.2	-
年齢				
20歳代	79	92.4	7.6	-
30歳代	132	93.9	6.1	-
40歳代	181	94.5	5.5	-
50歳～64歳	248	98.0	2.0	-
65歳以上	230	99.1	0.9	-
不明	17	100.0	-	-

(2) 食生活に気を遣っていること（複数回答）

（(1)で「はい」と回答した者のみ回答）

区 分	回答者数	家族や自分の好みにあうこと	栄養バランスがとれていること	費用がかからないこと	時間、手間がかからないこと	家にある食材をムダにしないこと	自分や家族の健康面に配慮すること	体重や体型をコントロールすること	主菜、副菜、汁物など複数のメニューを用意すること	季節の食材を取り入れること	なるべく残さず食べること	国産・地場産の農林水産物・食品を用いること
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
計	856	57.0	84.1	53.5	41.0	65.9	72.2	42.5	54.8	60.7	53.3	54.3
性別												
男性	245	43.7	81.6	49.0	29.8	54.7	63.7	47.3	44.9	54.3	57.6	48.2
女性	611	62.4	85.1	55.3	45.5	70.4	75.6	40.6	58.8	63.3	51.6	56.8
年齢												
20歳代	73	61.6	68.5	50.7	41.1	46.6	47.9	37.0	30.1	27.4	42.5	24.7
30歳代	124	64.5	79.8	61.3	46.8	64.5	62.9	33.9	45.2	43.5	41.9	40.3
40歳代	171	55.0	82.5	56.1	48.5	64.3	73.1	45.6	57.9	61.4	53.2	52.0
50歳～64歳	243	59.3	85.6	51.9	38.3	67.9	75.7	43.6	53.5	65.0	51.9	57.2
65歳以上	228	50.0	89.9	49.6	35.1	71.1	81.1	43.9	66.7	75.4	62.3	69.7
不明	17	64.7	100.0	58.8	41.2	76.5	64.7	64.7	58.8	64.7	82.4	58.8

区 分	環境に配慮した農林水産物・食品（有機栽培、低農薬等）を用いること	その他	無回答
	%	%	%
計	30.7	4.2	0.2
性別			
男性	30.2	5.7	-
女性	30.9	3.6	0.3
年齢			
20歳代	8.2	1.4	-
30歳代	16.1	1.6	0.8
40歳代	24.6	3.5	-
50歳～64歳	31.3	5.8	0.4
65歳以上	47.8	5.3	-
不明	58.8	5.9	-

(3) 食生活に気を遣わない理由（複数回答）
（(1)で「いいえ」と回答した者のみ回答）

区 分	回答者数	お腹がいつ ぱいになれば 食べるものは 何でもよいと考 えているから	好きなものを 食べたいから	健康だから	忙しくて気を 遣っている余 裕がないから	その他	無回答
	人	%	%	%	%	%	%
計	31	12.9	48.4	3.2	38.7	16.1	－
性別							
男性	11	9.1	54.5	－	45.5	9.1	－
女性	20	15.0	45.0	5.0	35.0	20.0	－
年齢							
20歳代	6	－	83.3	16.7	－	16.7	－
30歳代	8	12.5	25.0	－	62.5	12.5	－
40歳代	10	20.0	50.0	－	30.0	30.0	－
50歳～64歳	5	20.0	40.0	－	40.0	－	－
65歳以上	2	－	50.0	－	100.0	－	－
不明	－	－	－	－	－	－	－

2 農林漁業体験について

(1) 農林漁業体験の有無

区 分	回答者数	はい	いいえ	無回答
	人	%	%	%
計	887	71.0	29.0	－
性別				
男性	256	71.5	28.5	－
女性	631	70.8	29.2	－
年齢				
20歳代	79	75.9	24.1	－
30歳代	132	68.9	31.1	－
40歳代	181	73.5	26.5	－
50歳～64歳	248	66.9	33.1	－
65歳以上	230	72.6	27.4	－
不明	17	76.5	23.5	－

(2) 農林漁業体験の時期（複数回答）
（(1)で「はい」と回答した者のみ回答）

区 分	回答者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	小学生～高 校生以外の 10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代以上	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
計	630	22.9	62.2	30.3	16.3	7.3	29.0	31.1	27.0	21.9	－
性別											
男性	183	20.8	59.0	36.6	19.1	8.2	32.8	26.2	25.7	23.0	－
女性	447	23.7	63.5	27.7	15.2	6.9	27.5	33.1	27.5	21.5	－
年齢											
20歳代	60	35.0	91.7	38.3	18.3	10.0	35.0	－	－	－	－
30歳代	91	30.8	85.7	25.3	11.0	5.5	38.5	36.3	－	－	－
40歳代	133	29.3	58.6	21.8	12.8	8.3	25.6	36.8	36.1	3.0	－
50歳～64歳	166	17.5	56.0	25.9	17.5	8.4	28.9	38.0	41.0	34.3	－
65歳以上	167	15.6	46.1	40.7	21.0	6.0	23.4	28.7	30.5	44.3	－
不明	13	7.7	84.6	38.5	7.7	－	46.2	23.1	23.1	23.1	－

2 農林漁業体験について（続き）

(3) 参加した農林漁業体験の取組主体（複数回答）
（(1)で「はい」と回答した者のみ回答）

区 分	回答者数	民間の取組 に参加	地方自治体 や地域の取 組に参加	学校の取組 に参加	職場の取組 に参加	サークル・ 同好会など で自ら企画 した取組に 参加	その他	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%
計	630	17.9	22.4	46.8	8.3	9.2	39.4	0.3
性別								
男性	183	14.8	19.1	36.1	10.4	6.6	45.9	－
女性	447	19.2	23.7	51.2	7.4	10.3	36.7	0.4
年齢								
20歳代	60	15.0	15.0	71.7	8.3	1.7	26.7	－
30歳代	91	12.1	15.4	75.8	5.5	5.5	36.3	－
40歳代	133	23.3	27.1	51.1	5.3	8.3	30.8	－
50歳～64歳	166	19.9	27.7	38.6	9.0	10.8	40.4	1.2
65歳以上	167	16.8	19.8	28.1	9.6	13.8	51.5	－
不明	13	7.7	23.1	30.8	30.8	－	38.5	－

(4) 現在の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼしていること（複数回答）
（(1)で「はい」と回答した者のみ回答）

区 分	回答者数	国産や地場 産の食材を 選ぶように なった	旬のものを 選ぶように なった	残さず食べ るように なった	苦手だった 野菜・牛乳 などが食べ られたり飲 めるように なった	自然の恩恵 を感じられ るようにな った	生産者への 感謝の気持 ちを持つよ うになった	自ら野菜な どを育てる ようになった	その他	特にない	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
計	630	44.8	44.3	41.3	12.2	56.7	64.6	35.2	4.1	7.3	－
性別											
男性	183	45.4	41.0	45.4	13.7	51.4	61.2	38.8	6.0	6.0	－
女性	447	44.5	45.6	39.6	11.6	58.8	66.0	33.8	3.4	7.6	－
年齢											
20歳代	60	23.3	28.3	38.3	10.0	56.7	61.7	13.3	3.3	10.0	－
30歳代	91	31.9	25.3	34.1	15.4	46.2	54.9	24.2	1.1	12.1	－
40歳代	133	41.4	42.1	36.1	13.5	57.9	58.6	27.8	5.3	8.3	－
50歳～64歳	166	46.4	50.0	36.7	7.2	54.2	66.9	38.0	3.0	5.4	－
65歳以上	167	59.9	57.5	53.9	15.6	63.5	74.3	51.5	6.6	3.6	－
不明	13	53.8	30.8	53.8	7.7	61.5	53.8	46.2	－	15.4	－

3 調理体験について

(1) 調理体験の有無

区 分	回答者数	ある	ない	無回答
	人	%	%	%
計	887	64.8	35.2	－
性別				
男性	256	42.6	57.4	－
女性	631	73.9	26.1	－
年齢				
20歳代	79	40.5	59.5	－
30歳代	132	56.8	43.2	－
40歳代	181	72.9	27.1	－
50歳～64歳	248	66.1	33.9	－
65歳以上	230	70.4	29.6	－
不明	17	58.8	41.2	－

(2) 調理体験の時期（複数回答）
 （(1)で「ある」と回答した者のみ回答）

区 分	回答者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	小学生～高校生以外の10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代以上	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
計	575	2.6	24.7	17.7	14.4	6.3	39.3	42.6	33.0	32.0	-
性別											
男性	109	1.8	21.1	13.8	7.3	6.4	16.5	24.8	14.7	50.5	-
女性	466	2.8	25.5	18.7	16.1	6.2	44.6	46.4	37.8	27.7	-
年齢											
20歳代	32	18.8	75.0	37.5	25.0	15.6	37.5	-	-	-	-
30歳代	75	2.7	44.0	25.3	13.3	8.0	46.7	49.3	-	-	-
40歳代	132	2.3	15.2	9.8	9.8	3.0	54.5	62.9	40.9	-	-
50歳～64歳	164	1.2	23.2	19.5	14.6	8.5	36.6	40.9	45.7	40.9	-
65歳以上	162	1.2	13.6	14.8	17.3	4.3	27.8	32.7	38.9	69.1	-
不明	10	-	50.0	20.0	-	-	20.0	50.0	10.0	10.0	-

(3) 参加した調理体験の取組主体（複数回答）
 （(1)で「ある」と回答した者のみ回答）

区 分	回答者数	民間の取組に参加	地方自治体や地域の取組に参加	学校の取組に参加	職場の取組に参加	サークル・同好会などで自ら企画した取組に参加	その他	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%
計	575	46.8	49.9	35.5	8.9	22.6	7.1	-
性別								
男性	109	29.4	48.6	24.8	5.5	13.8	7.3	-
女性	466	50.9	50.2	38.0	9.7	24.7	7.1	-
年齢								
20歳代	32	28.1	34.4	71.9	3.1	12.5	6.3	-
30歳代	75	44.0	38.7	46.7	12.0	9.3	4.0	-
40歳代	132	65.2	46.2	25.8	7.6	18.2	3.8	-
50歳～64歳	164	45.1	51.8	37.8	11.6	23.8	7.9	-
65歳以上	162	38.9	59.9	28.4	6.8	33.3	11.1	-
不明	10	40.0	40.0	40.0	10.0	20.0	-	-

(4) 現在の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼしていること（複数回答）
 （(1)で「ある」と回答した者のみ回答）

区 分	回答者数	国産や地場産の食材を選ぶようになった	旬のものを選ぶようになった	残さず食べるようになった	苦手だった野菜・牛乳などが食べられたり飲めるようになった	料理を作るようになった	栄養バランスに気をつけるようになった	食文化継承に配慮するようになった	その他	特にない	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
計	575	39.0	42.8	26.4	11.1	41.2	54.4	29.9	7.7	11.8	-
性別											
男性	109	35.8	33.9	26.6	10.1	50.5	52.3	30.3	10.1	13.8	-
女性	466	39.7	44.8	26.4	11.4	39.1	54.9	29.8	7.1	11.4	-
年齢											
20歳代	32	28.1	25.0	28.1	12.5	50.0	50.0	12.5	-	21.9	-
30歳代	75	32.0	26.7	21.3	12.0	46.7	45.3	9.3	4.0	12.0	-
40歳代	132	27.3	34.1	19.7	12.1	43.2	43.9	20.5	9.1	13.6	-
50歳～64歳	164	36.6	45.7	20.1	7.3	33.5	51.8	33.5	9.1	12.2	-
65歳以上	162	56.8	59.3	40.1	13.6	45.1	72.2	47.5	8.6	6.2	-
不明	10	30.0	20.0	30.0	10.0	10.0	30.0	20.0	-	40.0	-

4 食に関する講演会等について

(1) 講演会等で食育に関する話を聞いたことの有無

区 分	回答者数	ある	ない	無回答
	人	%	%	%
計	887	68.5	31.5	-
性別				
男性	256	71.1	28.9	-
女性	631	67.5	32.5	-
年齢				
20歳代	79	40.5	59.5	-
30歳代	132	47.7	52.3	-
40歳代	181	63.5	36.5	-
50歳～64歳	248	75.4	24.6	-
65歳以上	230	86.5	13.5	-
不明	17	70.6	29.4	-

(2) 講演会等で話を聞いた時期（複数回答）
（(1)で「ある」と回答した者のみ回答）

区 分	回答者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	小学生～高校生以外の10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代以上	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
計	608	1.5	7.6	7.9	8.2	4.9	25.8	39.8	44.7	47.9	-
性別											
男性	182	2.2	4.9	6.0	5.5	2.2	15.9	22.5	33.0	62.1	-
女性	426	1.2	8.7	8.7	9.4	6.1	30.0	47.4	49.8	41.8	-
年齢											
20歳代	32	6.3	28.1	28.1	28.1	15.6	65.6	-	-	-	-
30歳代	63	3.2	22.2	23.8	20.6	12.7	65.1	71.4	-	-	-
40歳代	115	2.6	11.3	8.7	9.6	5.2	28.7	63.5	61.7	-	-
50歳～64歳	187	0.5	3.7	3.7	4.8	5.3	19.3	38.5	62.0	59.4	-
65歳以上	199	0.5	1.5	2.5	3.5	0.5	11.6	23.6	42.7	84.4	-
不明	12	-	-	16.7	8.3	-	25.0	41.7	33.3	41.7	-

(3) 現在の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼしていること（複数回答）
（(1)で「ある」と回答した者のみ回答）

区 分	回答者数	国産や地場産の食材を選ぶようになった	旬のものを選ぶようになった	残さず食べるようになった	料理を作るようになった	自然の恩恵を感じられるようになった	生産者への感謝の気持ちを持つようになった	栄養バランスに気をつけるようになった	食文化継承に配慮するようになった	その他	特にない	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
計	608	60.4	50.0	25.5	26.0	43.1	54.8	55.4	36.3	4.9	5.6	-
性別												
男性	182	52.7	41.2	24.7	25.3	44.0	49.5	50.0	37.4	6.6	7.1	-
女性	426	63.6	53.8	25.8	26.3	42.7	57.0	57.7	35.9	4.2	4.7	-
年齢												
20歳代	32	40.6	34.4	18.8	21.9	34.4	40.6	43.8	15.6	-	6.3	-
30歳代	63	49.2	46.0	23.8	23.8	38.1	49.2	60.3	20.6	3.2	9.5	-
40歳代	115	54.8	46.1	22.6	17.4	43.5	56.5	47.0	29.6	4.3	7.0	-
50歳～64歳	187	64.7	49.7	23.5	20.9	40.1	55.1	48.1	37.4	5.9	4.3	-
65歳以上	199	66.3	56.8	31.2	38.2	49.2	58.8	68.8	46.2	5.0	4.5	-
不明	12	58.3	41.7	16.7	8.3	33.3	33.3	33.3	58.3	16.7	-	-

(4) 現在の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼした講演会等の内容（複数回答）
（(3)で「特にない」以外を回答した者のみ回答）

区 分	回答者数	食生活と健康に関する科学的データ	農林水産業に携わる生産者の講演	料理人・シェフ・料理研究家など料理を作る人の講演	食品のバイヤーや食品小売業者、食品メーカーなど農林水産物・食品を売る人の講演	栄養士の講演	大学等で食を専門に研究している人の講演	簡単に実践できる方法やレシピの紹介	その他	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
計	575	48.9	44.0	35.3	23.3	36.5	23.1	40.0	4.7	-
性別										
男性	169	42.6	46.7	33.7	21.9	24.9	27.2	25.4	4.7	-
女性	406	51.5	42.9	36.0	23.9	41.4	21.4	46.1	4.7	-
年齢										
20歳代	30	43.3	20.0	20.0	23.3	33.3	16.7	33.3	6.7	-
30歳代	57	40.4	31.6	26.3	21.1	40.4	12.3	45.6	7.0	-
40歳代	107	40.2	33.6	35.5	21.5	35.5	20.6	33.6	3.7	-
50歳～64歳	179	45.3	45.8	38.5	21.8	33.5	25.7	35.2	3.9	-
65歳以上	190	60.5	55.3	36.8	26.3	40.0	26.3	49.5	4.7	-
不明	12	50.0	50.0	41.7	25.0	25.0	25.0	8.3	8.3	-

5 食べ物のおいしさについて

(1) 食べ物のおいしさに対する感動の有無

区 分	回答者数	ある	ない	無回答
	人	%	%	%
計	887	95.0	5.0	-
性別				
男性	256	94.1	5.9	-
女性	631	95.4	4.6	-
年齢				
20歳代	79	89.9	10.1	-
30歳代	132	89.4	10.6	-
40歳代	181	94.5	5.5	-
50歳～64歳	248	96.0	4.0	-
65歳以上	230	99.1	0.9	-
不明	17	100.0	-	-

(2) 食べ物のおいしさに感動した時期（複数回答）
（(1)で「ある」と回答した者のみ回答）

区 分	回答者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	小学生～高校生以外の10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代以上	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
計	843	7.8	27.8	19.6	20.2	15.2	45.8	48.5	41.4	35.6	-
性別											
男性	241	3.3	24.5	14.1	15.4	11.6	35.7	39.8	40.2	44.8	-
女性	602	9.6	29.1	21.8	22.1	16.6	49.8	52.0	41.9	31.9	-
年齢											
20歳代	71	7.0	35.2	31.0	40.8	25.4	76.1	-	1.4	-	-
30歳代	118	5.9	26.3	18.6	22.9	23.7	78.8	72.0	-	-	-
40歳代	171	9.4	37.4	22.2	20.5	14.0	41.5	60.8	53.2	-	-
50歳～64歳	238	11.8	26.9	21.0	21.4	17.2	46.2	54.6	60.9	53.4	-
65歳以上	228	3.9	21.1	13.6	11.8	6.1	22.8	35.5	47.4	71.1	-
不明	17	5.9	11.8	11.8	5.9	17.6	41.2	41.2	23.5	23.5	-

5 食べ物のおいしさについて（続き）

- (3) 現在の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼしていること（複数回答）
（(1)で「ある」と回答した者のみ回答）

区 分	回答者数	国産や地場産の食材を選ぶようになった	旬のものを選ぶようになった	残さず食べるようになった	苦手だった野菜・牛乳などが食べられたり飲めるようになった	料理を作るようになった	自然の恩恵を感じられるようになった	生産者への感謝の気持ちを持つようになった	栄養バランスに気をつけるようになった	その他	特にない	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
計	843	49.6	73.3	28.5	16.7	24.2	55.4	44.7	30.6	4.2	2.6	-
性別												
男性	241	44.4	70.5	29.5	18.3	21.6	53.5	39.0	27.0	3.3	3.3	-
女性	602	51.7	74.4	28.1	16.1	25.2	56.1	47.0	32.1	4.5	2.3	-
年齢												
20歳代	71	32.4	53.5	29.6	22.5	29.6	39.4	33.8	18.3	1.4	2.8	-
30歳代	118	48.3	72.9	22.0	24.6	24.6	48.3	37.3	22.0	2.5	2.5	-
40歳代	171	43.3	69.0	25.7	19.3	16.4	48.5	36.8	23.4	4.7	3.5	-
50歳～64歳	238	51.3	76.1	29.0	13.4	24.4	57.6	47.5	29.8	3.4	2.1	-
65歳以上	228	58.3	78.5	33.3	13.6	28.9	67.1	57.0	45.6	5.3	2.6	-
不明	17	52.9	94.1	23.5	-	11.8	52.9	17.6	23.5	17.6	-	-

6 効果の高い食育活動について

- (1) 効果の高い食育活動（複数回答）

区 分	回答者数	農林漁業体験	調理体験	食生活と健康に関する科学的データの周知	食に関わる専門家の講演	採れたての食べ物を食べるなど食べ物のおいしさに感動すること	簡単に実践できる調理方法やメニュー等の提案・紹介	その他	わからない	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
計	887	80.9	61.9	49.9	46.2	77.3	63.6	3.6	0.6	0.5
性別										
男性	256	77.3	59.4	55.5	48.8	73.8	52.7	3.9	0.4	0.8
女性	631	82.4	62.9	47.7	45.2	78.8	68.0	3.5	0.6	0.3
年齢										
20歳代	79	88.6	54.4	34.2	34.2	67.1	54.4	-	-	-
30歳代	132	78.8	57.6	44.7	32.6	74.2	65.2	3.0	0.8	2.3
40歳代	181	86.2	64.6	49.2	45.3	79.0	62.4	3.9	1.1	-
50歳～64歳	248	76.2	62.1	50.4	48.8	77.4	64.9	4.8	0.8	0.4
65歳以上	230	82.2	66.5	60.0	58.3	80.9	67.0	3.9	-	-
不明	17	58.8	35.3	29.4	17.6	82.4	41.2	-	-	-

- (2) 食に関する関心を持ち続けるのに必要な食育活動に触れる機会の頻度

区 分	回答者数	年に数回	毎年1回	2～3年に1回	4～5年に1回	10年に1回	小学校入学前までに体験すればよい	小学校や中学校で体験すればよい	20歳までに体験すればよい	その他	わからない	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
計	887	47.4	23.9	6.8	1.2	0.2	2.3	8.7	2.0	3.8	3.7	-
性別												
男性	256	46.5	26.6	4.3	1.6	-	2.7	7.0	1.6	4.3	5.5	-
女性	631	47.7	22.8	7.8	1.1	0.3	2.1	9.4	2.2	3.6	3.0	-
年齢												
20歳代	79	45.6	30.4	10.1	1.3	-	1.3	8.9	-	1.3	1.3	-
30歳代	132	53.0	18.2	8.3	1.5	-	3.8	6.1	3.0	0.8	5.3	-
40歳代	181	48.1	26.5	7.2	1.1	0.6	-	9.9	2.8	3.9	-	-
50歳～64歳	248	44.0	25.8	6.9	0.8	0.4	3.2	6.9	2.8	4.4	4.8	-
65歳以上	230	48.3	20.4	4.8	1.7	-	2.2	10.9	0.9	5.2	5.7	-
不明	17	41.2	29.4	-	-	-	5.9	11.8	-	11.8	-	-

(3) 食育活動体験の効果が最も高いと思われる時期

区 分	回答者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	小学生～高校生以外の10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代以上	結婚した時	子どもを持った時
計	人 887	% 8.0	% 41.5	% 13.6	% 7.7	% 3.4	% 6.4	% 2.5	% 0.7	% 0.9	% 2.0	% 6.5
性別												
男性	256	6.6	37.5	13.7	9.4	2.3	8.6	3.9	1.2	2.3	2.0	3.9
女性	631	8.6	43.1	13.6	7.0	3.8	5.5	1.9	0.5	0.3	2.1	7.6
年齢												
20歳代	79	1.3	49.4	20.3	10.1	2.5	12.7	－	－	－	－	1.3
30歳代	132	9.1	43.9	13.6	6.1	4.5	3.8	3.0	－	－	3.0	9.1
40歳代	181	8.8	48.1	9.9	7.2	0.6	5.5	2.2	－	0.6	1.7	8.3
50歳～64歳	248	12.1	34.7	9.3	6.0	6.5	8.1	3.2	2.4	1.2	2.4	6.0
65歳以上	230	5.2	37.4	19.6	10.4	1.7	4.8	2.6	－	1.7	2.2	6.1
不明	17	－	70.6	5.9	－	5.9	5.9	－	－	－	－	5.9

区 分	健康に自信がなくなった時	病気・けがをした時	その他	わからない	無回答
計	% 1.2	% 0.1	% 2.3	% 2.3	% 0.9
性別					
男性	2.0	0.4	2.3	2.0	2.0
女性	1.0	－	2.2	2.4	0.5
年齢					
20歳代	1.3	－	－	1.3	－
30歳代	0.8	－	0.8	2.3	－
40歳代	2.8	0.6	2.2	0.6	1.1
50歳～64歳	－	－	3.2	4.0	0.8
65歳以上	1.7	－	3.0	1.7	1.7
不明	－	－	－	5.9	－

7 国産農林水産物・食品について

(1) 農林水産物・食品・飲料等（国産・外国産）の購入頻度

区 分	回答者数	1週間に4回以上	1週間に2～3回	1週間に1回	2週間に1回	1ヶ月に1回	2～3ヶ月に1回以下	自分ではほとんど購入しない	無回答
計	人 887	% 37.5	% 46.4	% 10.6	% 2.0	% 0.7	% 0.2	% 2.5	% －
性別									
男性	256	33.2	43.0	14.8	3.5	0.8	0.8	3.9	－
女性	631	39.3	47.9	8.9	1.4	0.6	－	1.9	－
年齢									
20歳代	79	32.9	38.0	13.9	5.1	1.3	－	8.9	－
30歳代	132	35.6	48.5	11.4	2.3	－	－	2.3	－
40歳代	181	37.6	51.9	5.5	1.1	1.7	－	2.2	－
50歳～64歳	248	38.7	46.8	10.5	2.0	－	0.4	1.6	－
65歳以上	230	38.3	44.3	13.0	1.3	0.9	0.4	1.7	－
不明	17	47.1	35.3	11.8	5.9	－	－	－	－

7 国産農林水産物・食品について（続き）

- (2) 農林水産物・食品・飲料等（国産・外国産）を購入する際に重視すること（複数回答）
（(1)で「自分ではほとんど購入しない」以外を回答した者のみ回答）

区 分	回答者数	価格が安い	美味しい	鮮度が良い	安心・安全 （衛生面・ 添加物等）	量が多い	地産地消に つながる	生産者の顔 が見えるこ と	国内の特定 の産地であ ること	国産である こと	有名メー カー／ブラ ンド	自分が好き なメーカー ／ブランド
計	人 865	% 62.4	% 73.6	% 85.4	% 81.4	% 13.9	% 46.8	% 26.1	% 16.9	% 62.2	% 8.0	% 15.4
性別												
男性	246	64.6	67.9	81.7	75.2	12.2	39.0	26.4	15.0	55.7	8.1	13.8
女性	619	61.6	75.9	86.9	83.8	14.5	49.9	26.0	17.6	64.8	7.9	16.0
年齢												
20歳代	72	77.8	75.0	62.5	65.3	18.1	15.3	11.1	12.5	40.3	9.7	16.7
30歳代	129	65.9	76.0	80.6	73.6	27.1	31.8	10.9	17.1	61.2	7.8	13.2
40歳代	177	67.2	75.7	83.6	76.8	20.9	46.9	21.5	16.9	62.7	7.9	14.1
50歳～64歳	244	56.6	74.6	89.3	86.1	9.0	50.0	29.5	18.0	63.5	8.2	16.0
65歳以上	226	58.4	68.6	92.5	89.4	4.9	61.1	39.8	16.8	68.1	7.5	16.4
不明	17	58.8	82.4	88.2	82.4	11.8	58.8	23.5	17.6	58.8	5.9	17.6

区 分	輸入品、海 外のメー カー／ブラ ンド	環境に配慮 している	健康・美容 に良い	新製品	話題になっ ている	家族や友人 などの評判 が良い	見た目／見 栄えが良い	その他	無回答
計	% 1.7	% 18.7	% 32.6	% 8.1	% 13.5	% 25.9	% 7.6	% 1.5	% －
性別									
男性	1.2	23.6	33.7	4.9	8.5	18.7	7.3	2.0	－
女性	1.9	16.8	32.1	9.4	15.5	28.8	7.8	1.3	－
年齢									
20歳代	－	2.8	23.6	9.7	13.9	26.4	13.9	－	－
30歳代	0.8	6.2	24.0	9.3	13.2	25.6	9.3	0.8	－
40歳代	1.7	13.6	36.7	9.0	16.9	28.2	10.2	2.3	－
50歳～64歳	1.2	18.0	27.9	7.4	14.8	24.2	4.9	1.2	－
65歳以上	3.1	35.0	40.3	7.1	10.6	27.0	5.8	2.2	－
不明	5.9	29.4	58.8	5.9	－	11.8	5.9	－	－

- (3) 農林水産物・食品・飲料等（国産・外国産）の購入場所（複数回答）
（(1)で「自分ではほとんど購入しない」以外を回答した者のみ回答）

区 分	回答者数	スーパー マーケット	大型ショッ ピングセン ター・ ショッピング モール	コンビニエ ンスストア	ドラッグス トア	個人商店・ 専門店	農林水産物 直売所（道 の駅・産直 市場など）	物産展	ホームセン ター・ディ スカウント ショップ	百貨店	店舗に設置 されている 地産地消 コーナー	共同購入・ 個人宅配 （生協な ど）
計	人 865	% 94.7	% 41.5	% 20.3	% 21.5	% 18.3	% 50.1	% 11.2	% 7.3	% 10.9	% 26.9	% 20.8
性別												
男性	246	91.9	41.9	20.7	16.3	18.3	45.5	10.2	8.5	9.8	20.7	14.6
女性	619	95.8	41.4	20.2	23.6	18.3	51.9	11.6	6.8	11.3	29.4	23.3
年齢												
20歳代	72	93.1	40.3	37.5	37.5	4.2	11.1	4.2	6.9	4.2	12.5	6.9
30歳代	129	95.3	45.0	24.8	28.7	13.2	41.9	4.7	5.4	9.3	19.4	20.2
40歳代	177	97.7	39.5	20.9	23.7	17.5	47.5	15.8	7.3	8.5	31.6	17.5
50歳～64歳	244	93.4	40.6	18.4	19.7	21.3	57.0	9.0	7.0	10.2	28.7	26.2
65歳以上	226	93.8	41.6	15.0	11.9	23.5	59.7	15.9	9.3	16.8	31.0	23.9
不明	17	94.1	52.9	5.9	29.4	11.8	76.5	11.8	－	5.9	17.6	－

区 分	インター ネット通信 販売	ネットスー パー（イン ターネット で注文し、 近隣のスー パーなどか ら届けても らうサービ ス）	インター ネット以外 の通信販売 （カタログ 通販、テレ ビ通販な ど）	その他	無回答
	%	%	%	%	%
計	4.9	1.7	0.7	1.4	－
性別					
男性	6.1	0.8	－	1.6	－
女性	4.4	2.1	1.0	1.3	－
年齢					
20歳代	2.8	－	－	－	－
30歳代	8.5	1.6	0.8	－	－
40歳代	4.0	3.4	0.6	1.1	－
50歳～64歳	4.5	2.0	0.8	2.5	－
65歳以上	4.9	0.9	0.9	1.8	－
不明	－	－	－	－	－

(4) 農林水産物・食品・飲料について利用等している情報源（複数回答）

区 分	回答者数	店舗	テレビ番組	テレビCM	ラジオ	新聞	雑誌	インター ネットスー パーの情報	食品・飲料 メーカーの ホームページ	インター ネット	個人ブログ	S N S (Facebook , Twitter, I nstagramな ど)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
計	887	77.8	43.1	34.3	7.1	38.8	19.3	8.5	10.5	17.4	3.8	6.8
性別												
男性	256	75.8	37.9	29.7	6.3	39.8	15.6	10.5	10.5	17.6	2.0	4.3
女性	631	78.6	45.2	36.1	7.4	38.4	20.8	7.6	10.5	17.3	4.6	7.8
年齢												
20歳代	79	79.7	41.8	46.8	1.3	10.1	6.3	7.6	1.3	16.5	1.3	12.7
30歳代	132	79.5	39.4	43.2	5.3	13.6	17.4	8.3	6.8	25.8	6.8	9.1
40歳代	181	79.6	46.4	33.1	7.2	38.1	23.2	8.3	15.5	23.8	7.2	9.4
50歳～64歳	248	75.4	43.5	30.2	7.7	43.5	21.8	10.5	12.9	16.1	3.6	6.5
65歳以上	230	77.8	42.6	30.4	9.6	58.7	20.0	7.0	10.0	9.6	0.9	2.2
不明	17	70.6	41.2	29.4	5.9	35.3	5.9	5.9	－	11.8	－	－

区 分	その他	普段よく見 たり利用し ている情報 は特にはない	無回答
	%	%	%
計	4.4	3.8	0.5
性別			
男性	5.9	4.7	－
女性	3.8	3.5	0.6
年齢			
20歳代	－	3.8	1.3
30歳代	3.0	4.5	0.8
40歳代	3.9	4.4	－
50歳～64歳	5.2	3.6	0.4
65歳以上	5.7	3.5	0.4
不明	11.8	－	－

注：「インターネット」は、インターネットスーパー情報や食品・飲料メーカーのホームページを除く。

7 国産農林水産物・食品について（続き）
(5) 農林水産物・食品・飲料について「国産」かどうかの重視度合

区 分	回答者数	とても重視する	重視する	やや重視する	どちらとも言えない	あまり重視しない	重視しない	全く重視しない	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
計	887	36.9	30.6	24.4	3.9	2.4	0.5	0.5	1.0
性別									
男性	256	36.7	30.5	20.3	4.3	4.3	1.6	0.8	1.6
女性	631	36.9	30.6	26.0	3.8	1.6	－	0.3	0.8
年齢									
20歳代	79	24.1	24.1	32.9	8.9	7.6	－	1.3	1.3
30歳代	132	34.1	31.1	28.0	4.5	1.5	0.8	－	－
40歳代	181	33.1	27.1	28.2	6.1	2.8	0.6	0.6	1.7
50歳～64歳	248	39.5	33.1	22.2	1.2	2.0	0.4	0.8	0.8
65歳以上	230	43.0	33.0	17.8	3.5	1.3	0.4	－	0.9
不明	17	35.3	23.5	35.3	－	－	－	－	5.9

(6) 国産の農林水産物・食品・飲料を買おうと思う理由（複数回答）

区 分	回答者数	価格が安い	美味しい	鮮度が良い	安心・安全 （衛生面、 添加物等）	量が多い	地産地消に つながる	生産者の顔 が見える	有名メー カー／ブラ ンドがある	自分が好き なメーカー ／ブランド がある	環境に配慮 している	価値がある
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
計	887	8.8	51.0	61.1	88.7	2.9	50.2	26.0	4.3	4.5	17.0	13.2
性別												
男性	256	10.5	41.4	60.2	85.2	3.1	49.6	22.3	3.9	3.5	20.7	15.6
女性	631	8.1	54.8	61.5	90.2	2.9	50.4	27.6	4.4	4.9	15.5	12.2
年齢												
20歳代	79	10.1	55.7	53.2	88.6	2.5	17.7	7.6	1.3	－	11.4	11.4
30歳代	132	6.8	54.5	54.5	86.4	3.0	36.4	12.1	3.0	3.0	9.1	12.1
40歳代	181	8.3	47.5	52.5	85.1	4.4	49.2	24.9	5.0	2.8	7.7	12.2
50歳～64歳	248	7.7	49.2	62.1	88.3	2.0	54.8	29.8	4.8	4.0	16.1	12.5
65歳以上	230	11.3	52.6	73.0	93.0	3.0	64.8	38.3	4.8	9.1	32.2	14.8
不明	17	5.9	41.2	64.7	94.1	－	52.9	11.8	5.9	－	11.8	29.4

区 分	健康・美容 に良い	新製品	話題になっ ている	家族や友人 などの評判 が良い	見た目／見 栄えが良い	その他	特になし	無回答
	%	%	%	%	%	%	%	%
計	13.2	1.6	2.4	8.6	2.1	1.2	1.0	0.9
性別								
男性	13.7	2.0	2.3	9.0	3.1	1.6	2.0	1.2
女性	13.0	1.4	2.4	8.4	1.7	1.1	0.6	0.8
年齢								
20歳代	11.4	1.3	1.3	1.3	7.6	1.3	2.5	－
30歳代	6.8	3.8	3.0	4.5	1.5	－	1.5	0.8
40歳代	10.5	0.6	1.1	5.5	0.6	1.7	1.1	0.6
50歳～64歳	10.5	0.8	2.8	8.9	2.0	1.6	1.2	1.2
65歳以上	21.7	2.2	3.0	14.8	2.2	1.3	－	0.9
不明	23.5	－	－	17.6	－	－	－	5.9

(7) フード・アクション・ニッポン (Food Action Nippon) の認知度

区 分	回答者数	見たり聞いたりしたことがあり、内容も知っている	見たり聞いたりしたことがあるが、内容は知らない	見たり聞いたりしたことはない	わからない	無回答
	人	%	%	%	%	%
計	887	15.7	31.2	43.4	9.6	0.1
性別						
男性	256	16.4	28.5	43.8	11.3	-
女性	631	15.4	32.3	43.3	8.9	0.2
年齢						
20歳代	79	3.8	27.8	50.6	17.7	-
30歳代	132	10.6	37.1	41.7	10.6	-
40歳代	181	19.3	29.8	38.7	12.2	-
50歳～64歳	248	18.5	29.0	46.0	6.5	-
65歳以上	230	17.4	33.0	41.7	7.4	0.4
不明	17	5.9	23.5	58.8	11.8	-

(8) 地産地消を進めるのに重要なこと（複数回答）

区 分	回答者数	消費者と生産者との交流	食育活動	中食（持ち帰りが可能な惣菜、弁当など）で地場産農林水産物を使用すること	外食で地場産農林水産物を使用すること	学校給食・社員食堂で地場産農林水産物を使用すること	病院・介護施設等の給食に地場産農林水産物を使用すること	農林水産物の生産過程を知ること	農林水産物の流通過程を知ること	その他	特に何かする必要はない	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
計	887	59.9	62.6	41.6	38.0	65.7	36.8	33.0	23.8	4.1	0.5	1.8
性別												
男性	256	62.5	52.3	41.0	32.4	55.9	31.6	35.2	27.3	5.1	1.2	2.7
女性	631	58.8	66.7	41.8	40.3	69.7	38.8	32.2	22.3	3.6	0.2	1.4
年齢												
20歳代	79	48.1	50.6	36.7	34.2	58.2	36.7	21.5	12.7	3.8	1.3	3.8
30歳代	132	49.2	65.2	43.2	41.7	66.7	25.0	23.5	11.4	1.5	-	1.5
40歳代	181	53.0	62.4	41.4	38.1	68.0	33.1	31.5	23.2	8.8	-	2.2
50歳～64歳	248	66.9	61.7	39.9	37.9	64.9	37.1	29.8	23.8	2.8	0.8	1.2
65歳以上	230	67.8	66.5	44.8	38.3	65.7	46.5	47.4	35.7	3.0	0.4	1.7
不明	17	58.8	58.8	35.3	23.5	82.4	29.4	29.4	17.6	5.9	-	-

(9) 国産農林水産物が多く使用されている加工食品、中食（惣菜等）、外食の飲食・利用意向

区 分	回答者数	とてもそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全く思わない	その他	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%
計	887	36.2	49.9	10.7	1.1	0.3	0.7	1.0
性別								
男性	256	32.4	49.2	12.9	2.0	1.2	0.8	1.6
女性	631	37.7	50.2	9.8	0.8	-	0.6	0.8
年齢								
20歳代	79	26.6	51.9	20.3	-	-	-	1.3
30歳代	132	45.5	47.7	5.3	0.8	-	0.8	-
40歳代	181	48.1	40.3	7.2	1.1	-	1.1	2.2
50歳～64歳	248	33.9	50.8	12.1	0.8	0.8	0.4	1.2
65歳以上	230	27.4	57.0	11.7	2.2	0.4	0.9	0.4
不明	17	35.3	52.9	11.8	-	-	-	-

8 基本項目

(1) 同居家族

区 分	回答者数	配偶者	子ども	親	その他	いない	無回答
計	人 887	% 74.9	% 51.4	% 20.6	% 4.5	% 7.8	% 0.5

(2) 職業

区 分	回答者数	会社員（常勤）	会社員（契約社員）	会社・団体役員／経営者	自営業	アルバイト・パート	専業主婦・主夫	年金生活	学生	無職	その他	無回答
計	人 887	% 23.7	% 5.3	% 1.7	% 8.2	% 20.9	% 20.1	% 9.0	% 0.7	% 7.4	% 2.7	% 0.3

(3) 世帯年収

区 分	回答者数	200万円未満	200～400万円未満	400～600万円未満	600～800万円未満	800～1,000万円未満	1,000～2,000万円未満	2,000万円以上	無回答
計	人 887	% 10.6	% 29.9	% 28.1	% 15.6	% 9.0	% 4.7	% 0.3	% 1.8

【調査事項】

【食生活への関心度について】

問 1 全員の方にお聞きします。

あなたは、食生活に気を遣っていますか。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1 はい | ————→ | 問 1-(1)へ |
| 2 いいえ | ————→ | 問 1-(2)へ |

問 1-(1) 問 1 で「1」を選択した方にお聞きします。

日々の食生活で気を遣っていることは何ですか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- | | |
|-------------------------------------|---------|
| 1 家族や自分の好みにあうこと | } 問 2 へ |
| 2 栄養バランスがとれていること | |
| 3 費用がかからないこと | |
| 4 時間、手間がかからないこと | |
| 5 家にある食材をムダにしないこと | |
| 6 自分や家族の健康面に配慮すること | |
| 7 体重や体型をコントロールすること | |
| 8 主菜、副菜、汁物など複数のメニューを用意すること | |
| 9 季節の食材を取り入れること | |
| 10 なるべく残さず食べること | |
| 11 国産・地場産の農林水産物・食品を用いること | |
| 12 環境に配慮した農林水産物・食品(有機栽培、低農薬等)を用いること | |
| 13 その他(具体的に回答用紙に記入してください。) | |

問 1-(2) 問 1 で「2」を選択した方にお聞きします。

気を遣っていないのはなぜですか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- | |
|----------------------------------|
| 1 お腹がいっぱいになれば食べるものは何でもよいと考えているから |
| 2 好きなものを食べたいから |
| 3 健康だから |
| 4 忙しくて気を遣っている余裕がないから |
| 5 その他(具体的に回答用紙に記入してください。) |

【農林漁業体験について】

問2 全員の方にお聞きします。

あなたは、田植えや種まき、収穫体験、家畜の世話などの農林漁業体験を経験したことがありますか。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- | | | | |
|---|-----|-------|----------|
| 1 | はい | ————→ | 問2-(1) へ |
| 2 | いいえ | ————→ | 問3 へ |

問2-(1) 問2で「1」を選択した方にお聞きします。

農林漁業体験活動を経験したのはいつですか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 小学生未満
- 2 小学生
- 3 中学生
- 4 高校生
- 5 2～4以外の10歳代
- 6 20歳代
- 7 30歳代
- 8 40歳代
- 9 50歳代以上

問2-(2) 問2で「1」を選択した方にお聞きします。

農林漁業体験活動に参加した時は、どのようなものに参加されましたか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 民間の取組に参加
- 2 地方自治体や地域の取組に参加
- 3 学校の取組に参加
- 4 職場の取組に参加
- 5 サークル・同好会などで自ら企画した取組に参加
- 6 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

問2-(3) 問2で「1」を選択した方にお聞きします。

農林漁業体験活動を経験したことによって、現在の自分の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼしていることは何ですか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 国産や地場産の食材を選ぶようになった
- 2 旬のものを選ぶようになった
- 3 残さず食べるようになった
- 4 苦手だった野菜・牛乳などが食べられたり飲めるようになった
- 5 自然の恩恵を感じられるようになった
- 6 生産者への感謝の気持ちを持つようになった
- 7 自ら野菜などを育てるようになった
- 8 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）
- 9 特にない

【調理体験について】

問3 全員の方にお聞きします。

料理教室や料理講習会などの調理体験に参加したことがありますか。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- | | | | |
|---|----|-------|---------|
| 1 | ある | ————→ | 問3-(1)へ |
| 2 | ない | ————→ | 問4へ |

問3-(1) 問3で「1」を選択した方にお聞きします。

調理体験に参加したのはいつですか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 小学生未満
- 2 小学生
- 3 中学生
- 4 高校生
- 5 2～4以外の10歳代
- 6 20歳代
- 7 30歳代
- 8 40歳代
- 9 50歳代以上

問3-(2) 問3で「1」を選択した方にお聞きします。

調理体験に参加した時は、どのようなものに参加されましたか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 民間の取組に参加
- 2 地方自治体や地域の取組に参加
- 3 学校の取組に参加
- 4 職場の取組に参加
- 5 サークル・同好会などで自ら企画した取組に参加
- 6 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

問3-(3) 問3で「1」を選択した方にお聞きします。

調理体験を経験したことによって、現在の自分の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼしていることは何ですか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 国産や地場産の食材を選ぶようになった
- 2 旬のものを選ぶようになった
- 3 残さず食べるようになった
- 4 苦手だった野菜・牛乳などが食べられたり飲めるようになった
- 5 料理を作るようになった
- 6 栄養バランスに気をつけるようになった
- 7 食文化継承に配慮するようになった
- 8 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）
- 9 特にない

【食に関する講演会等について】

問4 全員の方にお聞きします。

これまで、講演会やシンポジウム、セミナー、テレビ番組など（以下、「講演会等」という。）で、食生活や栄養バランス、農林漁業体験など食育に関する話を聞いたことがありますか。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- | | | | |
|---|----|-------|---------|
| 1 | ある | ————→ | 問4-(1)へ |
| 2 | ない | ————→ | 問5へ |

問 4-(1) 問 4 で「1」を選択した方にお聞きします。

講演会等で話を聞いたのはいつですか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 小学生未満
- 2 小学生
- 3 中学生
- 4 高校生
- 5 2～4 以外の10歳代
- 6 20歳代
- 7 30歳代
- 8 40歳代
- 9 50歳代以上

問 4-(2) 問 4 で「1」を選択した方にお聞きします。

講演会等で話を聞いたことによって、現在の自分の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼしていると感じることは何ですか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 国産や地場産の食材を選ぶようになった
- 2 旬のものを選ぶようになった
- 3 残さず食べるようになった
- 4 料理を作るようになった
- 5 自然の恩恵を感じられるようになった
- 6 生産者への感謝の気持ちを持つようになった
- 7 栄養バランスに気をつけるようになった
- 8 食文化継承に配慮するようになった
- 9 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）
- 10 特にない



問 4-(3) へ

→ 問 5 へ

問4-(3) 問4-(2)で「1」～「9」を選択した方にお聞きします。

現在の自分の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼしたのは、講演会等のどのような内容ですか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 食生活と健康に関する科学的データ
- 2 農林水産業に携わる生産者の講演
- 3 料理人・シェフ・料理研究家など料理を作る人の講演
- 4 食品のバイヤーや食品小売業者、食品メーカーなど農林水産物・食品を
売る人の講演
- 5 栄養士の講演
- 6 大学等で食を専門に研究している人の講演
- 7 簡単に実践できる方法やレシピの紹介
- 8 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

【食べ物のおいしさについて】

問5 全員の方にお聞きします。

旬の食べものやとれたての食べものを食べて、そのおいしさに感動したことがありますか。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- | | | | |
|---|----|-------|---------|
| 1 | ある | ————→ | 問5-(1)へ |
| 2 | ない | ————→ | 問6へ |

問5-(1) 問5で「1」を選択した方にお聞きします。

おいしさに感動したのはいつですか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 小学生未満
- 2 小学生
- 3 中学生
- 4 高校生
- 5 2～4以外の10歳代
- 6 20歳代
- 7 30歳代
- 8 40歳代
- 9 50歳代以上

問5-(2) 問5で「1」を選択した方にお聞きします。

おいしさに感動した体験が、現在の自分の食に対する考え方や実際の食生活に影響を及ぼしていることは何ですか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 国産や地場産の食材を選ぶようになった
- 2 旬のものを選ぶようになった
- 3 残さず食べるようになった
- 4 苦手だった野菜・牛乳などが食べられたり飲めるようになった
- 5 料理を作るようになった
- 6 自然の恩恵を感じられるようになった
- 7 生産者への感謝の気持ちを持つようになった
- 8 栄養バランスに気をつけるようになった
- 9 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）
- 10 特にない

【効果の高い食育活動について】

問6 全員の方にお聞きします。

食に対する考え方や実際の食生活を改善するために効果が高いと考えられる食育活動とはどのようなものだと思いますか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 農林漁業体験
- 2 調理体験
- 3 食生活と健康に関する科学的データの周知
- 4 食に関わる専門家の講演
- 5 採れたての食べ物を食べるなど食べ物のおいしさに感動すること
- 6 簡単に実践できる調理方法やメニュー等の提案・紹介
- 7 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）
- 8 わからない

問7 全員の方にお聞きします。

食に関する関心を持ち続けるために、どのくらいの頻度で食育活動に触れる機会を持てばよいと思いますか。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 年に数回
- 2 毎年1回
- 3 2～3年に1回
- 4 4～5年に1回
- 5 10年に1回
- 6 小学校入学前までに体験すればよい
- 7 小学校や中学校で体験すればよい
- 8 20歳までに体験すればよい
- 9 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）
- 10 わからない

問8 全員の方にお聞きします。

食育活動を体験する時期として、最も効果の高い時期はいつだと思います。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 小学生未満
- 2 小学生
- 3 中学生
- 4 高校生
- 5 2～4以外の10歳代
- 6 20歳代
- 7 30歳代
- 8 40歳代
- 9 50歳代以上
- 10 結婚した時
- 11 子どもを持った時
- 12 健康に自信がなくなった時
- 13 病気・けがをした時
- 14 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）
- 15 わからない

【国産農林水産物・食品について】

問 9 全員の方にお聞きします。

農林水産物・食品・飲料等をあなたは普段、どのくらいの頻度で購入していますか。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

※ 家族の購入する頻度は含めないでください。また、農林水産物・食品・飲料等は、国産／輸入品を問いません。

- | | | | |
|---|---------------|---|---------|
| 1 | 1週間に4回以上 | } | 問9-(1)へ |
| 2 | 1週間に2～3回 | | |
| 3 | 1週間に1回 | | |
| 4 | 2週間に1回 | | |
| 5 | 1ヶ月に1回 | | |
| 6 | 2～3ヶ月に1回以下 | } | 問9-(1)へ |
| 7 | 自分ではほとんど購入しない | | |
| | | | → 問10へ |

問9-(1) 問9で「1」～「6」を選択した方にお聞きします。

農林水産物・食品・飲料等を普段購入する際に、どのようなことを重視していますか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 価格が安い
- 2 美味しい
- 3 鮮度が良い
- 4 安心・安全（衛生面、添加物等）
- 5 量が多い
- 6 地産地消につながる
- 7 生産者の顔が見えること
- 8 国内の特定の産地であること
- 9 国産であること
- 10 有名メーカー／ブランド
- 11 自分が好きなメーカー／ブランド
- 12 輸入品、海外のメーカー／ブランド
- 13 環境に配慮している
- 14 健康・美容に良い
- 15 新製品
- 16 話題になっている
- 17 家族や友人などの評判が良い
- 18 見た目／見栄えが良い
- 19 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

問9-(2) 問9で「1」～「6」を選択した方にお聞きします。

普段購入する農林水産物・食品・飲料等は、どこで購入していますか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 スーパーマーケット
- 2 大型ショッピングセンター・ショッピングモール
- 3 コンビニエンスストア
- 4 ドラッグストア
- 5 個人商店・専門店
- 6 農林水産物直売所（道の駅・産直市場など）
- 7 物産展
- 8 ホームセンター・ディスカウントショップ
- 9 百貨店
- 10 店舗に設置されている地産地消コーナー
- 11 共同購入・個人宅配（生協など）
- 12 インターネット通信販売
- 13 ネットスーパー（インターネットで注文し、近隣のスーパーなどから届けてもらうサービス）
- 14 インターネット以外の通信販売（カタログ通販、テレビ通販など）
- 15 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

問10 全員の方にお聞きします。

農林水産物・食品・飲料について、普段よく見ている、また利用している情報源は何ですか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 店舗
- 2 テレビ番組
- 3 テレビCM
- 4 ラジオ
- 5 新聞
- 6 雑誌
- 7 インターネットスーパーの情報
- 8 食品・飲料メーカーのホームページ
- 9 インターネット（7・8を除く）
- 10 個人ブログ
- 11 SNS（Facebook、Twitter、Instagramなど）
- 12 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）
- 13 普段よく見たり利用している情報は特にない

問11 全員の方にお聞きします。

農林水産物・食品・飲料（全般）について、「国産」であることをどの程度重視していますか。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 とても重視する
- 2 重視する
- 3 やや重視する
- 4 どちらとも言えない
- 5 あまり重視しない
- 6 重視しない
- 7 全く重視しない

問12 全員の方にお聞きします。

なぜ「国産」の農林水産物・食品・飲料を買おうと思いますか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 価格が安い
- 2 美味しい
- 3 鮮度が良い
- 4 安心・安全（衛生面、添加物等）
- 5 量が多い
- 6 地産地消につながる
- 7 生産者の顔が見える
- 8 有名メーカー／ブランドがある
- 9 自分が好きなメーカー／ブランドがある
- 10 環境に配慮している
- 11 価値がある
- 12 健康・美容に良い
- 13 新製品
- 14 話題になっている
- 15 家族や友人などの評判が良い
- 16 見た目／見栄えが良い
- 17 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）
- 18 特になし

問13 全員の方にお聞きします。

フード・アクション・ニッポン（Food Action Nippon）※という言葉を見たり聞いたことはありますか。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

※ 国産農林水産物の消費拡大を図るため、民間企業・消費者・国等が一体となって推進する国民運動。



- 1 見たり聞いたりしたことがあり、内容も知っている。
- 2 見たり聞いたりしたことがあるが、内容は知らない。
- 3 見たり聞いたりしたことはない
- 4 わからない

問14 全員の方にお聞きします。

地産地消※を進めるには何が重要だと思いますか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

※ 地産地消とは、地域で生産された農林水産物を生産された地域内で消費すること。

- 1 消費者と生産者との交流
- 2 食育活動
- 3 中食（持ち帰りが可能な惣菜、弁当など）で地場産農林水産物を使用すること
- 4 外食で地場産農林水産物を使用すること
- 5 学校給食・社員食堂で地場産農林水産物を使用すること
- 6 病院・介護施設等の給食に地場産農林水産物を使用すること
- 7 農林水産物の生産過程を知ること
- 8 農林水産物の流通過程を知ること
- 9 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）
- 10 特に何かする必要はない

問15 全員の方にお聞きします。

生鮮食品以外の加工食品、中食（惣菜）、外食に、国産農林水産物が多く使用されていれば、食べたい／利用したいと思いますか。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 とてもそう思う
- 2 そう思う
- 3 どちらとも言えない
- 4 そう思わない
- 5 全く思わない
- 6 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

【基本項目について】

問16 全員の方にお聞きします。

同居している家族について教えてください。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 配偶者
- 2 子ども
- 3 親
- 4 その他
- 5 いない

問17 全員の方にお聞きします。

現在の職業を教えてください。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 会社員（常勤）
- 2 会社員（契約社員）
- 3 会社・団体役員／経営者
- 4 自営業
- 5 アルバイト・パート
- 6 専業主婦・主夫
- 7 年金生活
- 8 学生
- 9 無職
- 10 その他

問18 全員の方にお聞きします。

あなたの世帯年収を教えてください。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 200万円未満
- 2 200～400万円未満
- 3 400～600万円未満
- 4 600～800万円未満
- 5 800～1,000万円未満
- 6 1,000～2,000万円未満
- 7 2,000万円以上

【調査の概要】

1 調査の目的

女性の社会進出や単身・高齢者世帯の増加、情報通信技術の急速な利用拡大等、社会構造やライフスタイル等の変化に伴い、食の質、サービス形態等の多様化や高度化が進んでいる。また、消費者と食との関わり方が多様化する中で、地域で受け継がれてきた伝統的な食文化の衰退、食卓と生産現場の距離の拡大による農業・農村についての国民の理解の希薄化等が進んでいる。

このため、消費者各層の多様なニーズや特性等を踏まえつつ、食育の推進や国産の農林水産物・食品の魅力に関する情報発信、地産地消等を通じて、日本の食や農林水産業に対する国民の理解や信頼を高め、国産農林水産物の消費拡大にも資する取組を推進しているところである。

このような中、農林水産業の活性化を図り、食料の安定供給を実現するためには、農林水産業の現状や施策の方向性について御理解いただき、農業・農村や水産業・漁村を支える社会の構築を目指す必要があることから、今後の施策の企画・立案の参考とすることを目的として実施するものである。

2 調査の対象

全国の農林水産情報交流モニターのうち、消費者モニターを対象とした。

(参考)

農林水産情報交流モニターとは、農林水産行政に対する意見・要望を把握することを目的として、広く国民から以下の区分ごとに公募等により選ばれた方である。

※モニターの区分及び条件

生産者モニター

農業者モニター : 農業経営体の経営者

林業者モニター : 林業経営体の経営者

漁業者モニター : 漁業経営体のうち、個人経営体の経営者

流通加工業者モニター : 食品製造、食品卸売、食品小売、外食産業及び木材関係の経営に携わっている者

消費者モニター : 農林水産行政に関心がある20歳以上の者

3 調査の内容

食生活への関心度、農林漁業体験等や食育活動、国産農林水産物・食品に関する意識・意向等

4 調査時期

本調査は、平成29年7月上旬から7月下旬までの間に実施した。

5 調査方法

オンライン調査及び郵送調査の2種類とし、メールアドレスを登録している者にはオンライン調査を、その他の者に対しては郵送調査を実施した。

6 調査対象者数及び回収率

区 分	対象者数（人）	回答者数（人）	回収率（％）
消費者モニター	987	887	89.9

7 集計方法

各項目とも、単純集計により集計した。

8 利用上の注意

- (1) 図中の人数及び統計表の各回答者数は、各設問の有効回答者数である。
- (2) 各回答率は、各設問（各区分）の回答者数計を100.0とする割合である。
- (3) 表示単位未満を四捨五入したため、計と内訳の積み上げ値は必ずしも一致しない場合がある。
- (4) 統計表に使用した記号「－」は、該当する選択肢を選んだ回答者がいないことを表す。
- (5) この統計表に掲載された数値を他に転載する場合は、「食育活動及び国産農林水産物・食品に関する意識・意向調査」（農林水産省）による旨を記載してください。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果は、分野別分類「農林水産行政等に対する意識・意向調査」でご覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/finding/mind/index.html> 】

お問合わせ先

◎本調査結果について

農林水産省 食料産業局 食文化・市場開拓課
国産消費企画班

電 話：(代表) 03-3502-8111 内線：3803

(直通) 03-6744-2352

F A X： 03-6744-2013

◎農林水産情報交流ネットワーク事業について

農林水産省 大臣官房 統計部 生産流通消費統計課
消費統計室 価格・消費動向班 モニター係

電 話：(代表) 03-3502-8111 内線：3713

(直通) 03-6744-2047

F A X： 03-3593-2310

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房 統計部 統計企画管理官
広報普及班

電 話：(代表) 03-3502-8111 内線：3589

(直通) 03-6744-2037

F A X： 03-3501-9644